

32bit PCIバス用 AutoMDI/MDI-X対応 Gigabit LANアダプタ

GH-ELG32RN Ver1.0

はじめに.....	2
使用・保管場所について.....	2
本製品の特長.....	3
動作条件.....	3
技術仕様.....	4
制限事項.....	4
対応ケーブルについて.....	4
ドライバインストールの前に.....	5
PCIバスへの取り付け上の注意.....	5
本製品のパソコンへの取り付け.....	5
ドライバインストール (Windows 98SE).....	6
ドライバインストール (Windows NT4.0).....	12
ドライバインストール (Windows Me).....	27
ドライバインストール (Windows 2000).....	32
ドライバインストール (Windows XP).....	38
ドライバインストールに失敗した場合の再インストール手順.....	43
アダプタアドレス (MAC アドレス) の確認方法.....	45
本製品の弊社サポートの範囲 (ご注意).....	47
不具合調査依頼書.....	48

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部又は全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本書に記載された仕様、デザイン、そのほかの内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しては、万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーインフォメーションセンターまでご連絡下さい。また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承下さい。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
また、弊社は本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に記載しております。必ずご確認の上、大切に保管して下さい。
- 本製品を使用した事によって生じたファイルの破損、消失並びにパソコン及び周辺機器の破損等については弊社は如何なる責も負いかねます事を予めご了承下さい。

はじめに

この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。本書をお読みの上、正しくご使用下さい。また、本書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

◎安全にお使いいただくために必ずお守り下さい。



警告

下記の注意事項を守らないと、使用者が死亡の原因また重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品は、取扱書には記載のない分解や改造はしないで下さい。火災や感電、ケガの原因となります。
- 風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないで下さい。火災になったり、感電・故障する恐れがあります。
- 本製品を取り付けたことにより煙が出たり、異臭や騒音が生じた場合パソコン及び周辺機器の電源スイッチをオフにし、パソコン本体から取り外して下さい。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。



注意

下記の注意事項を守らないと、使用者が怪我をしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

- 濡れた手で本製品に触れないで下さい。
- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属に手を触れて、体の電気を取り除くようにして下さい。

※本製品の使用した際のデータの消失・パソコン及び周辺機器の破損等の損害については、弊社はいかなる責も追いかねます事を予めご了承下さい。

使用・保管場所について

次のような場所での使用や保管はしないで下さい。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・強い磁界や静電気が発生するところ
- ・振動の激しいところ
- ・漏電または漏水の危険があるところ
- ・平らでないところ
- ・温度や湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を越える、または結露するところ

本製品の特長

- ・ Realtek 製 RTL8169S-32 チップ採用
- ・ 10/100/1000Mbps オートネゴシエーション対応
- ・ Full Duplex (全二重通信) サポート
- ・ PCI Rev2.0 以降対応
- ・ 接続状態を示す LED インジケータ付
- ・ Auto MDI/MDI-X 対応によりストレート、クロスケーブルを気にする事なく配線可能
- ・ IEEE802.3x (Flow Control) 対応

動作条件

対応機種 PC-AT 互換機 (OADG 仕様) で一つの使用可能な 32bitPCI
バス及びフロッピーディスクドライブが存在すること

対応 OS Windows98SE, WindowsNT4.0, WindowsMe, Windows2000,
WindowsXP

注 : MacOS ではご使用になれません

技術仕様

適合規格	IEEE802.3 (10Base-T)	IEEE802.3u (100Base-TX)
	IEEE802.3ab (1000Base-T)	IEEE802.3x (Flow Control)
	IEEE802.1q (VLAN tagging)	IEEE802.1p
バスインターフェイス	32 ビットバスマスター、PCI バス Rev2.0 以降	
搭載チップ	Realtek 製 RTL8169S-32	
ポート	Ethernet ポート (RJ45) x1	
LED 表示	1000	1000Mbps にてリンクしています。
	100	100Mbps にてリンクしています。
	10	10Mbps にてリンクしています。
	点滅時は、そのスピードにて転送中。	
動作温度	0°C~50°C	
湿度	10~90% (結露なき事)	
寸法	122 * 57 * 21 mm (基板部)	
付属品	取扱説明書 (本書)、ドライバフロッピーディスク 1 年間保証書	

制限事項

- ・ 本製品は、動作条件に記載されていない OS での動作保証は致しかねます。
- ・ 本製品は、IEEE802.1Q (VLAN tagging) の動作保証は致しかねます。
- ・ 本製品は、省電力モード時の動作保証は致しかねます。

対応ケーブルについて

通信速度によって対応するケーブルが異なりますのでご注意ください。また、ケーブルの長さは 100m 以内でご利用ください。

1000Base-T : エンハンスドカテゴリ-5 以上の LAN ケーブル

100BASE-TX : カテゴリ-5 以上の LAN ケーブル

10BASE-T : カテゴリ-3 以上の LAN ケーブル

ドライバインストールの前に

- ・提供ドライバフロッピーディスクの構成が下図のようなファイル構成になっていることをご確認ください。(下図は Windows NT4.0 で表示した例です)



PCI バスへの取り付け上の注意

初めてパソコンの電源を入れたときに「ピー ピピピ」あるいは「ピピピ」などのビープ音がしてパソコンが起動しないことがあります。これは LAN カードの装着時にビデオカードがバスから浮いてしまった為に起こる現象です。この場合はビデオカードを念のため一度パソコンから外して、正しく装着しなおすことにより正常に戻ります。特に AGP バスは接触部分がとてもデリケートな為、この現象が起こりやすくなっています。

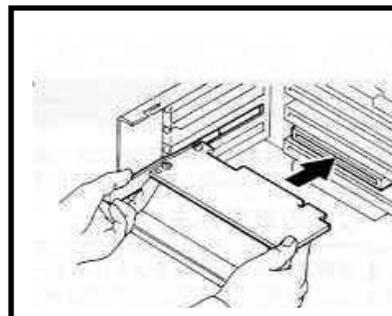
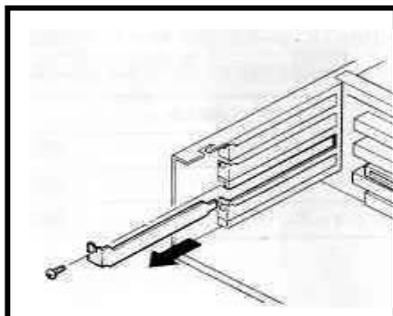
本製品のパソコンへの取り付け

1. パソコン本体の電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. パソコン本体に接続してあるケーブル類を全て外します。
3. パソコンのカバーを取り外します。(取り外し方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。)
4. PCI スロットのカバーを取り外します。
5. PCI スロットに本製品を取り付け、ねじ止めします。

(奥までしっかりと差し込んで下さい。)

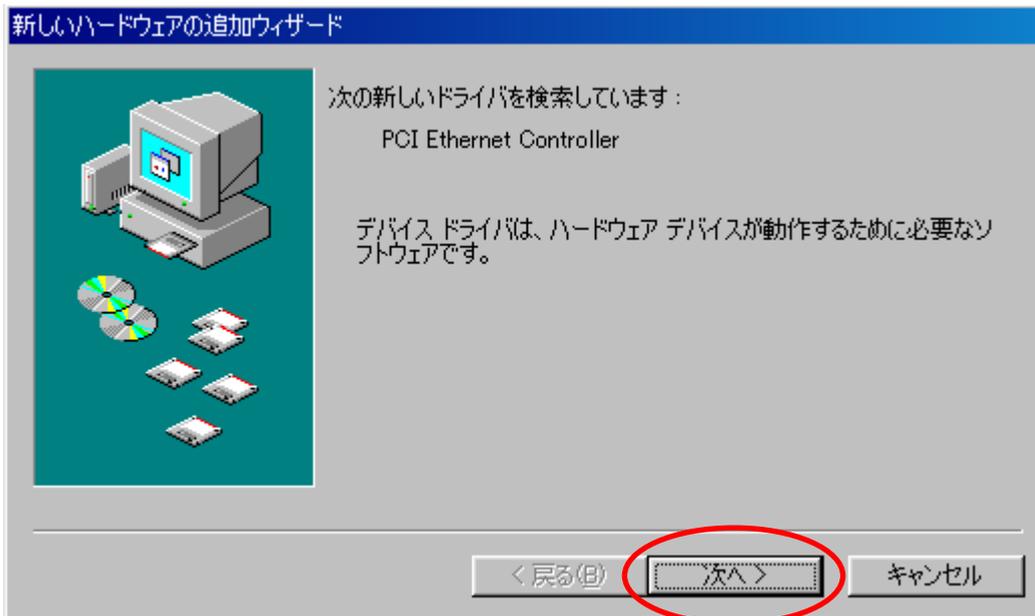
※このとき本製品の金色の端子面には触れないようにご注意ください。

6. パソコン本体のカバーを元通りに取り付け、周辺機器のケーブルを接続します。

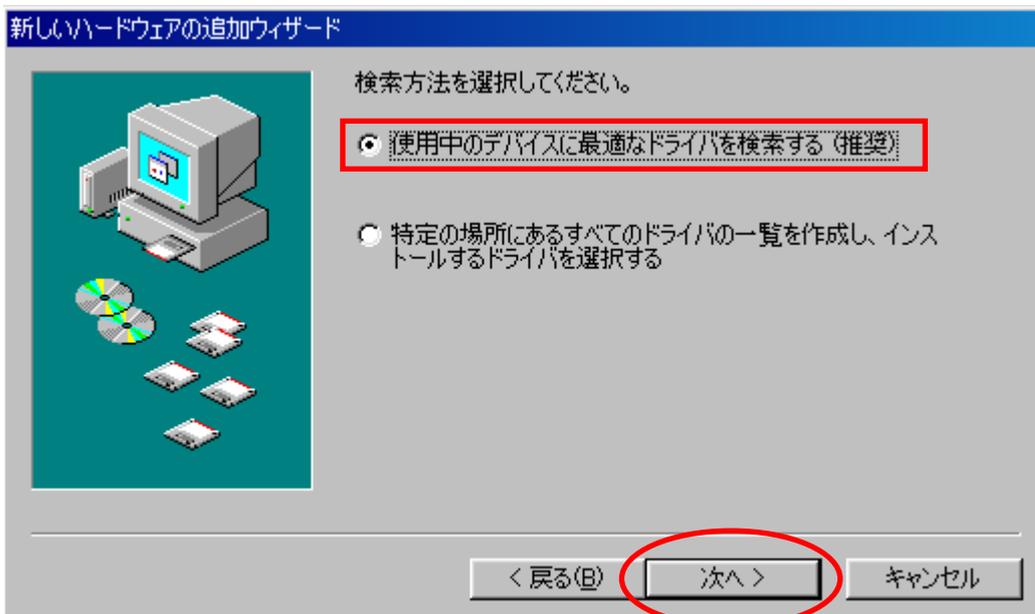


ドライバインストール (Windows98SE)

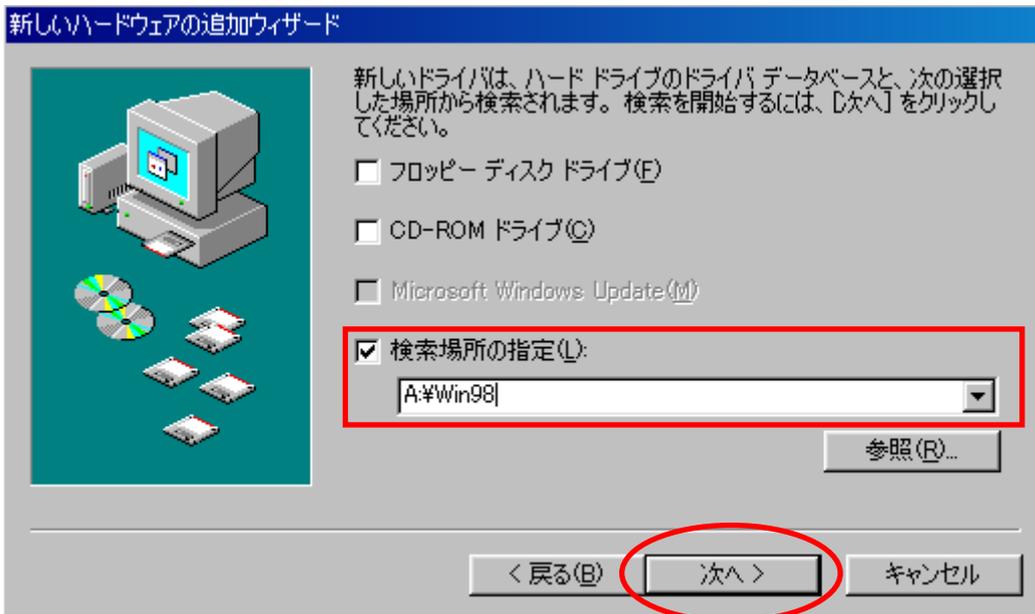
1. 本製品を PCI バスに装着した後にパソコンの電源を入れると下記の画面が出ますので [次へ] をクリックします。



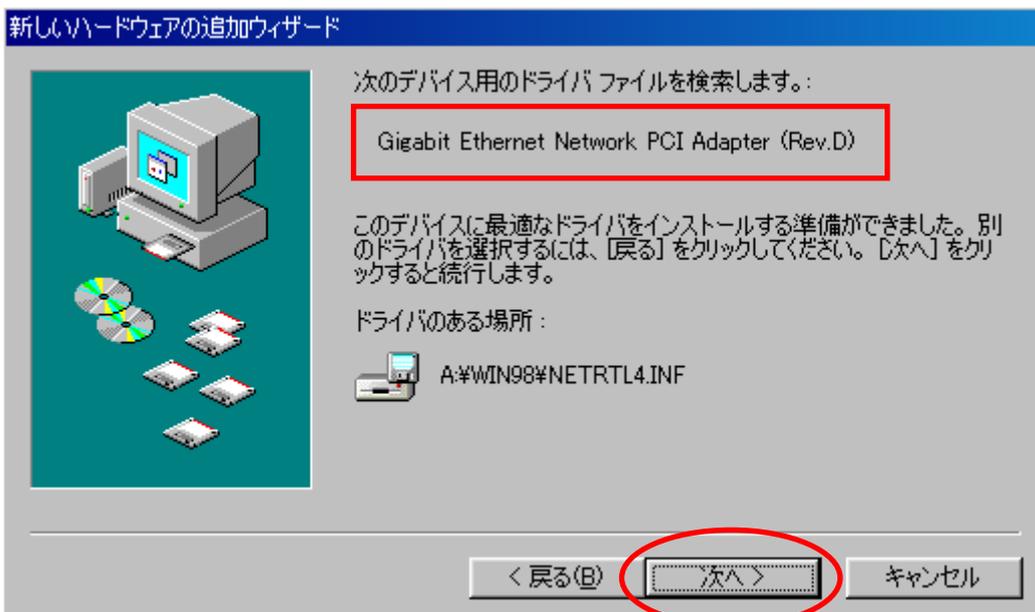
2. 下記の画面になりましたら [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択し [次へ] をクリックします。



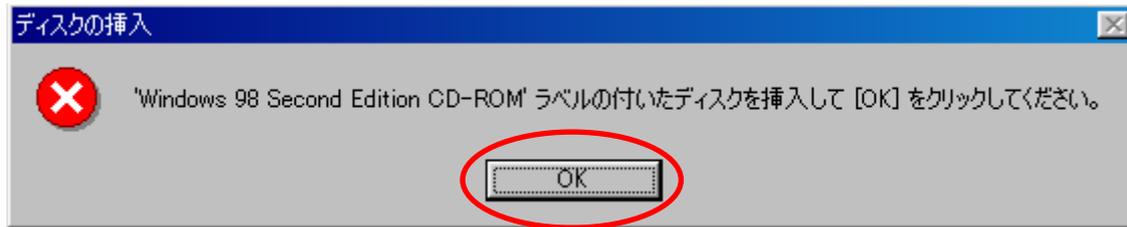
3. 下記の画面になりましたら **【検索場所の指定】** をチェックし、検索場所指定の欄にお使いのパソコンのフロッピーディスクドライブの場所（通常は A:¥Win98）を入力して提供ドライバディスクを挿入して **【次へ】** をクリックします。



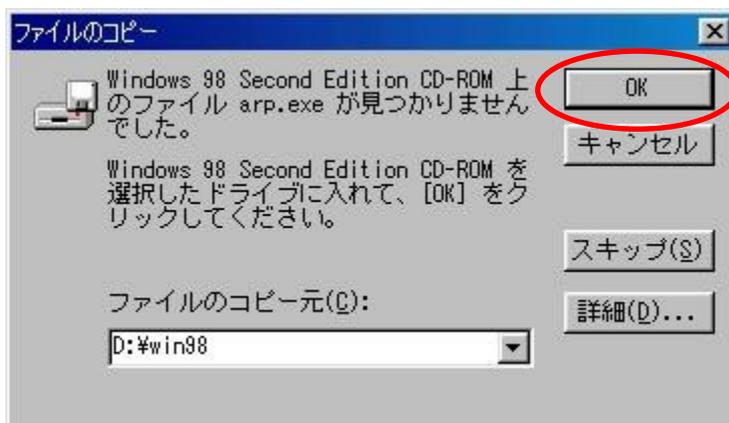
4. **【Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)】** の表記を確認して**【次へ】** をクリックします。



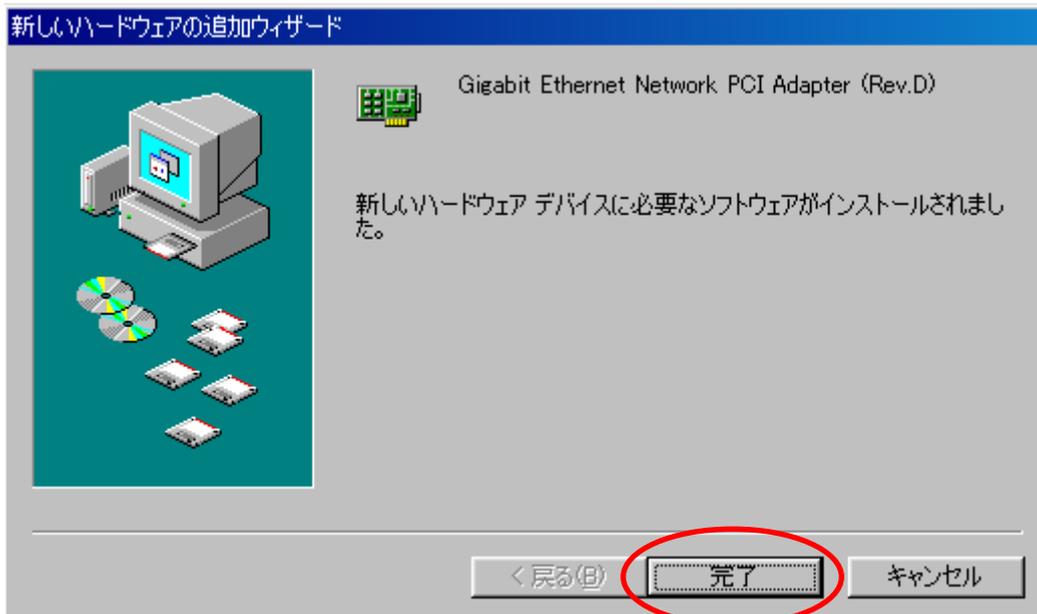
5. 下記の画面のようにOSのCD-ROMを要求された場合ドライブにCD-ROMを挿入して下さい。
(必要なネットワークコンポーネントがインストールされます。)



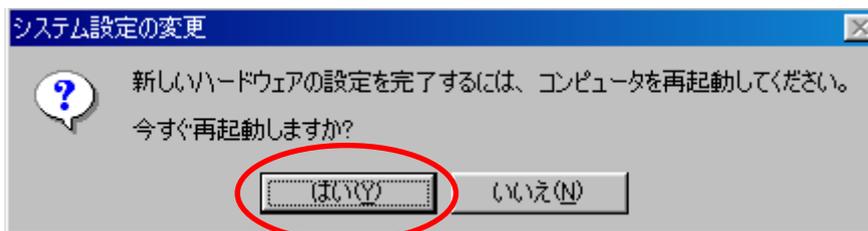
6. 更に下図のような表示が出た場合にはファイルのコピー元の欄に[D:¥WIN98] (CD-ROMドライブがDドライブの場合) と入力し[OK]をクリックします。



7. 必要なファイルがコピーされ下記の画面になりましたらドライバのインストールは完了です。[完了]をクリックして下さい。



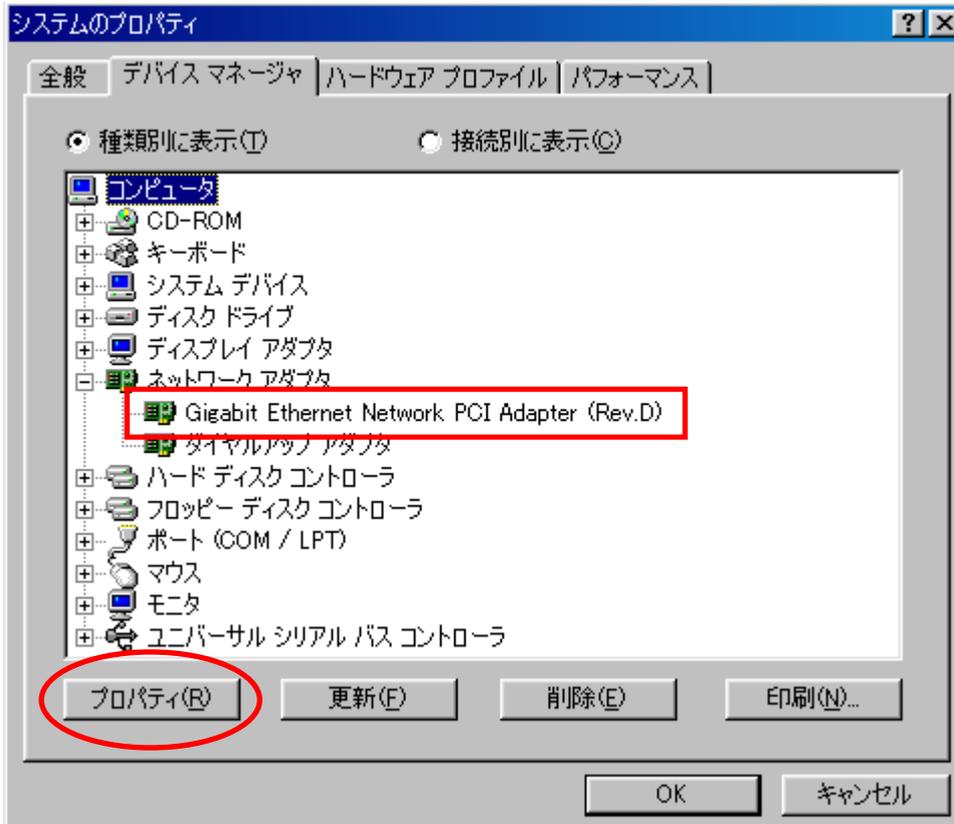
8. コンピュータの再起動を促されますので再起動させてドライバインストール作業は完了です。再起動時にはフロッピーディスクをドライブから抜いておいて下さい。



9. 確認の為にデバイスマネージャを開いて下記の[Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev. D)]の表記が出ていることを確認して下さい。

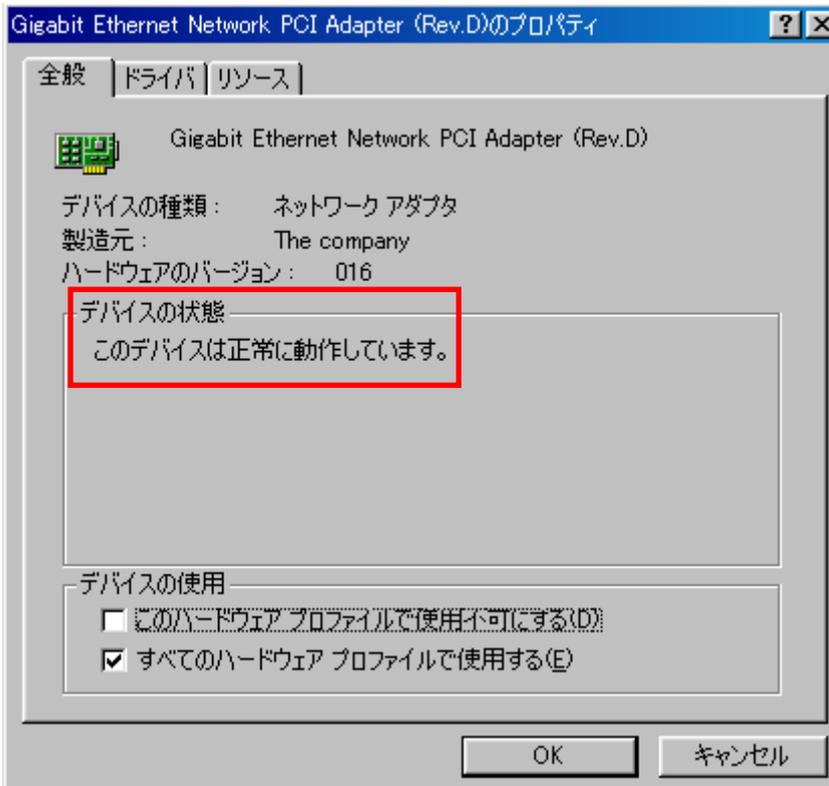
(デスクトップアイコンの[マイコンピュータ]-右クリック-[プロパティ]で表示させます。)

万が一？マークや！マークが付いている場合ドライバインストールに失敗していますので後述するデバイスドライバの再インストールを行って下さい。



10. 更に[プロパティ]をクリックしてデバイスの状態を確認します。

[このデバイスは正常に動作しています]と表示されていれば GH-ELG32RN は使用できる状態になっています。



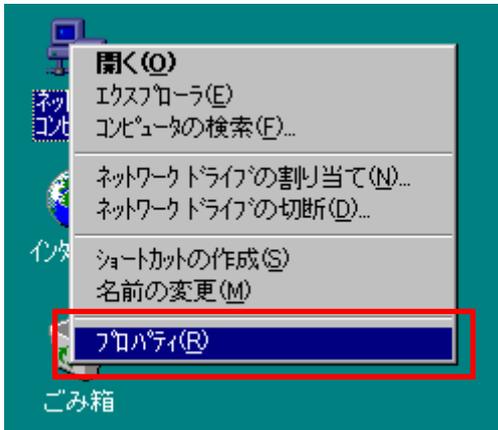
11. インターネット接続や LAN 内でファイルの共有等を行うには適切な TCP/IP 設定が必要になります。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねになるかプロバイダの提供資料に基づき設定を行ってご使用下さい。

ドライバインストール (Windows NT4.0)

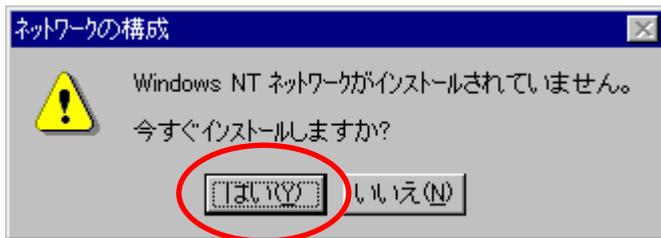
※必ず**管理者権限 (administrator)** からドライバのインストールをして下さい。

[以前に LAN カードがインストールされていない場合]

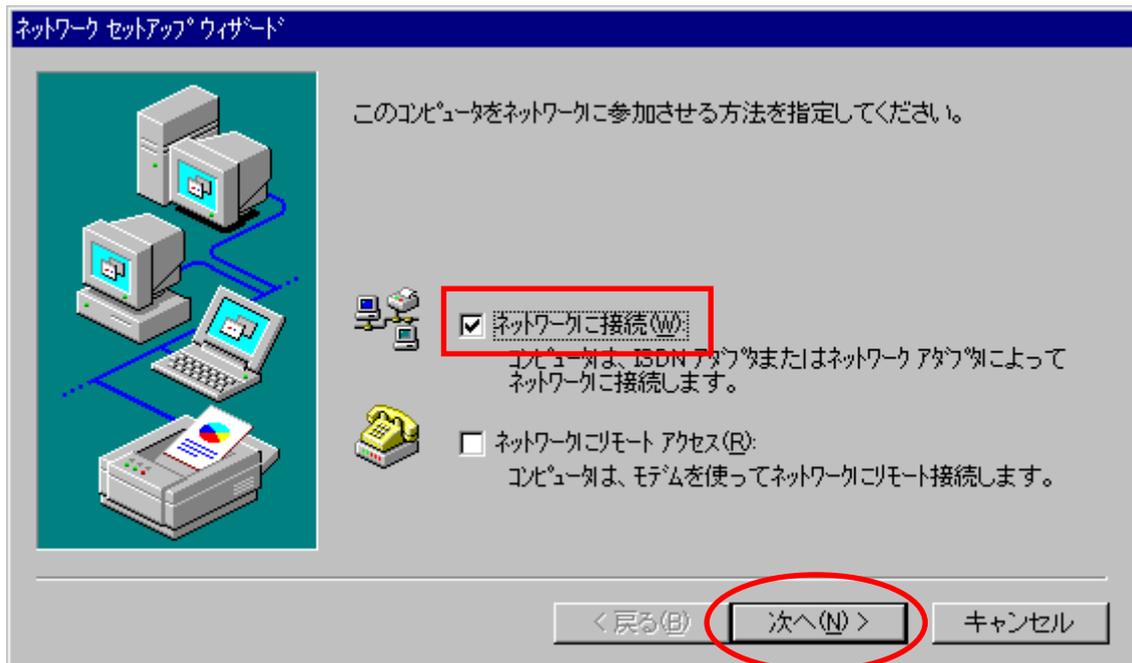
1. 本製品を PCI バスに装着した後にパソコンの電源を入れ、デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ]アイコンの[プロパティ]を開きます。



2. 下記の画面になりましたら[はい]をクリックして下さい。



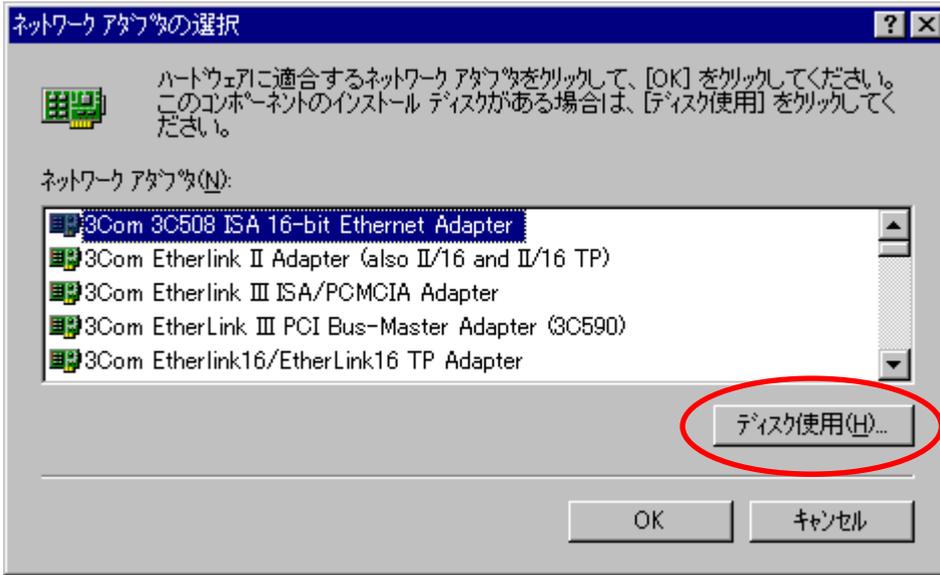
3. [ネットワークに接続]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。



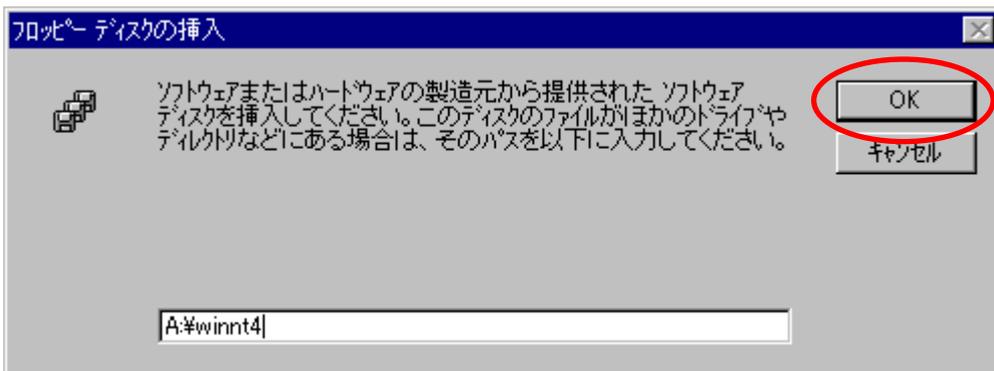
4. 下記の画面になりましたら[一覧から選択]をクリックします。



5. 下記の画面になりましたら[ディスク使用]をクリックします。



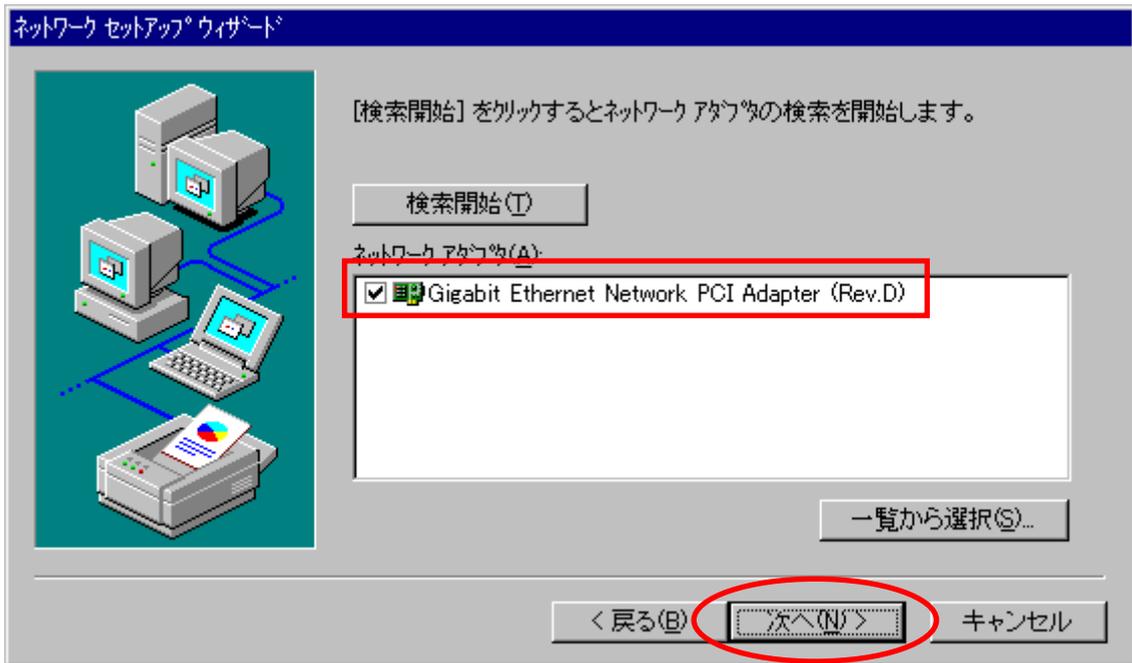
6. 下記の画面になりましたら、お使いのパソコンのフロッピーディスクドライブの場所（通常は A:¥winnt4）を入力し、提供ドライバディスクを挿入して [OK] をクリックします。



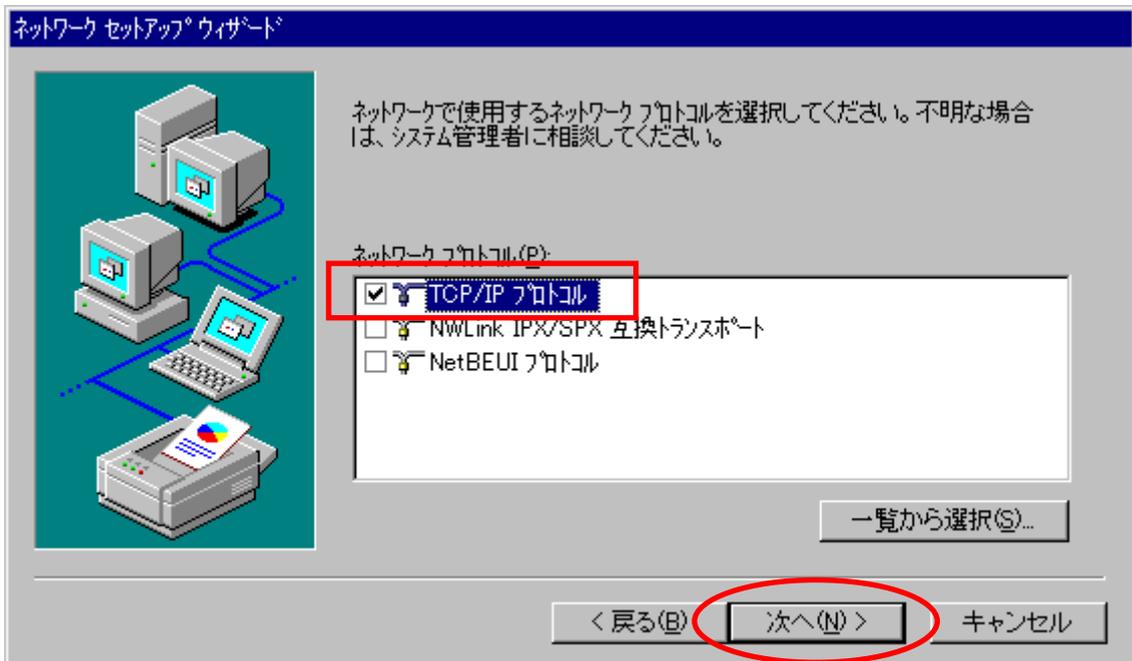
7. 下記の画面になりましたら、[Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)] の表記が出ていることを確認して、[OK]をクリックします。



8. [Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev. D)] にチェックマークが付いている事を確認して[次へ]をクリックします。



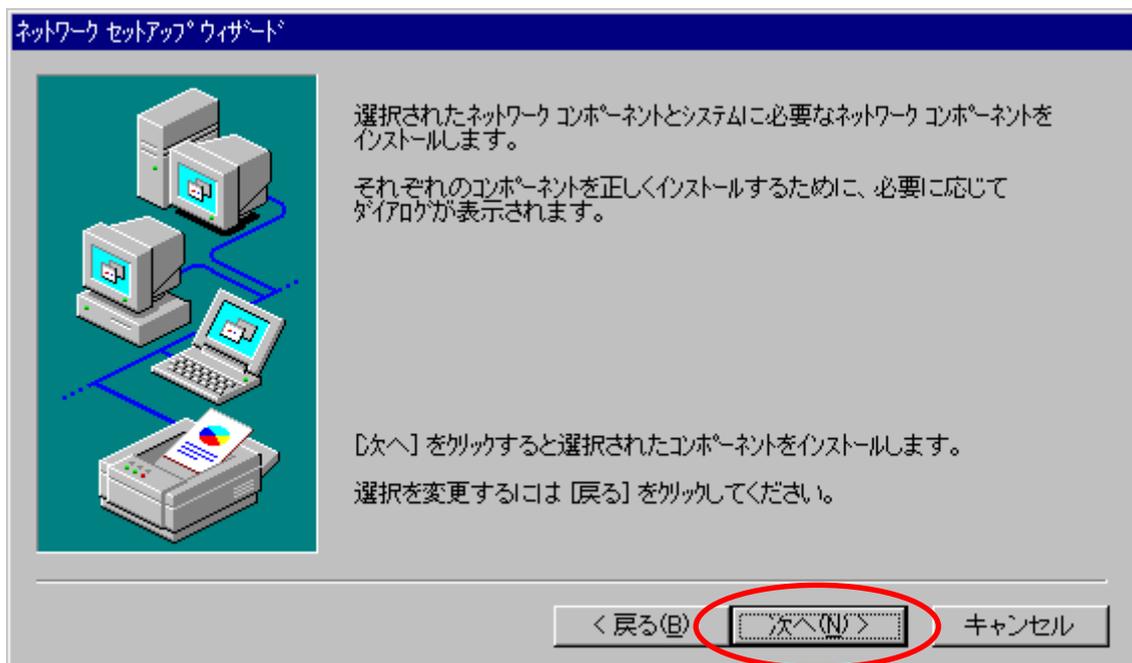
9. プロトコルの選択画面では、ご利用の環境に合わせて選択し、[次へ]をクリックして下さい。(下記は TCP/IP プロトコルのみをインストールする場合の例です。)



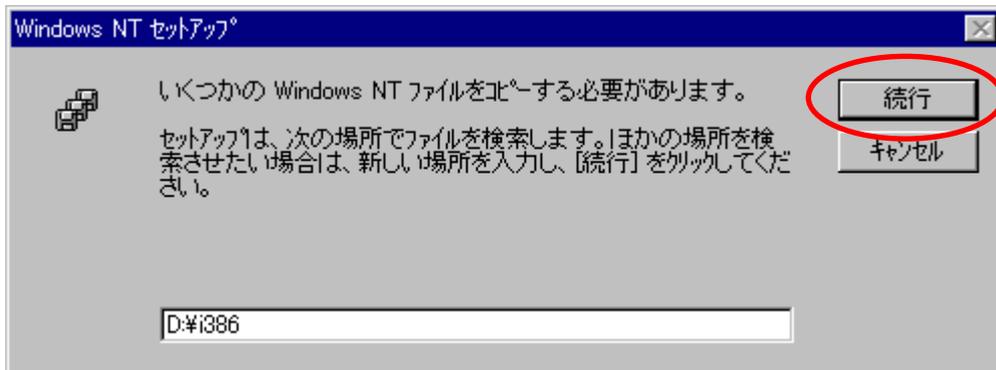
10. 下記の画面になりましたら、そのまま[次へ]をクリックして下さい。



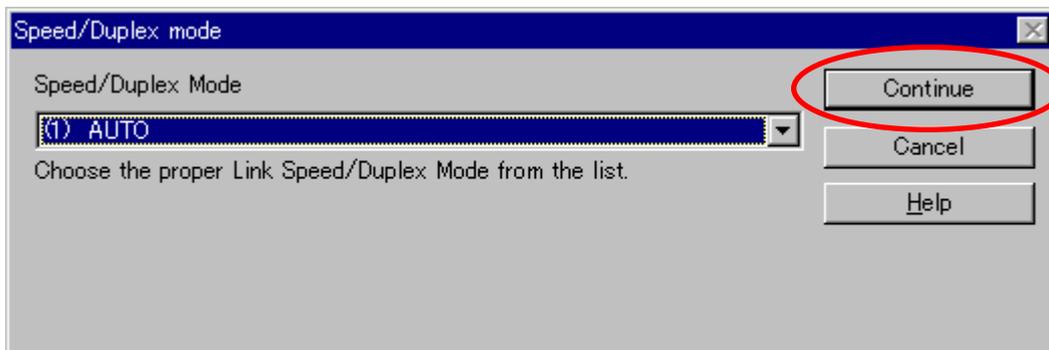
11. 下記の画面になりましたら、そのまま[次へ]をクリックして下さい。



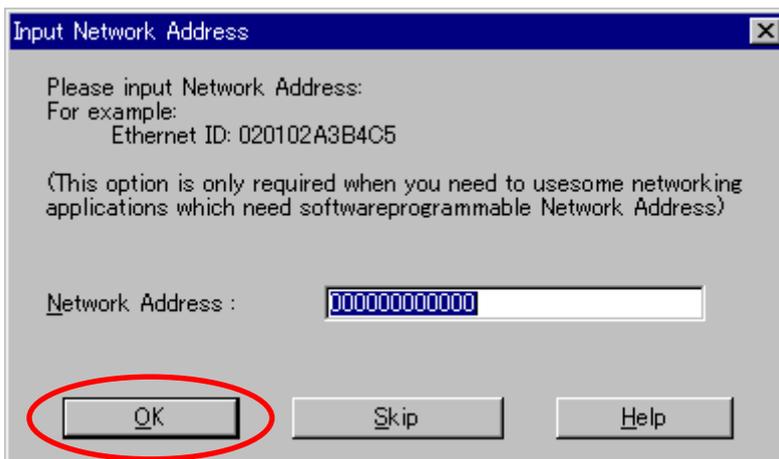
12. 下記の画面になりましたら、OS の CD-ROM が必要になりますので CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入して [D:¥i386] (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合) と入力して [続行] をクリックします。



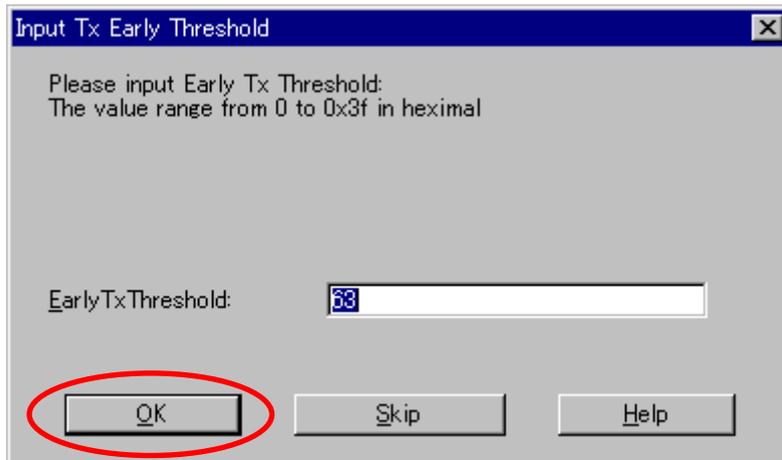
13. 下記の画面になりましたら、[Continue] をクリックして下さい。



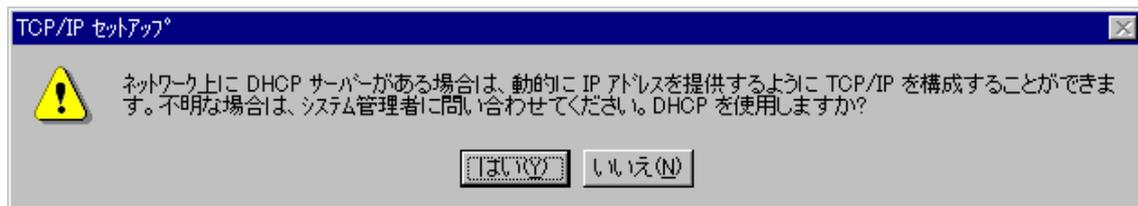
14. 下記の画面が表示されたら、[OK] をクリックして下さい。



15. 続いて、下記の画面が表示されますので[OK]をクリックして下さい。



16. 本アダプタの IP アドレスを DHCP サーバーから取得する場合は[はい]、明示的に指定する場合は[いいえ]をクリックして下さい。



17. 必要なネットワークコンポーネントのコピーが始まります。



18. 下記の画面で IP アドレスや必要なネットワークの設定を行って下さい。
詳しくはネットワーク管理者又はプロバイダ等の指示に従って下さい。

Microsoft TCP/IPのプロパティ

IP アドレス | DNS | WINS アドレス | ルーティング

DHCP サーバーから IP アドレスを取得し、このネットワーク アダプタ カードに自動的に割り当てることができます。ネットワークに DHCP サーバーがない場合は、ネットワーク管理者にアドレスを問い合わせ、そのアドレスを下のボックスに入力してください。

アダプタ(P):
[1] Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)

DHCP サーバーから IP アドレスを取得する(O)
 IP アドレスを指定する(S)

IP アドレス(I): 192 168 0 10
サブネット マスク(U): 255 255 255 0
デフォルト ゲートウェイ(G): 192 168 0 1

詳細(D)...

OK キャンセル 適用(A)

この設定はあくまで一例です。(固定で IP アドレスを割り当てる場合)

19. 下記の画面になりましたら、[次へ]をクリックして下さい。

ネットワーク セットアップ ウィザード

ここでは、ネットワークのバイトを無効にしたり、このコンピュータがネットワーク上で情報を見つける順序を変えることができます。

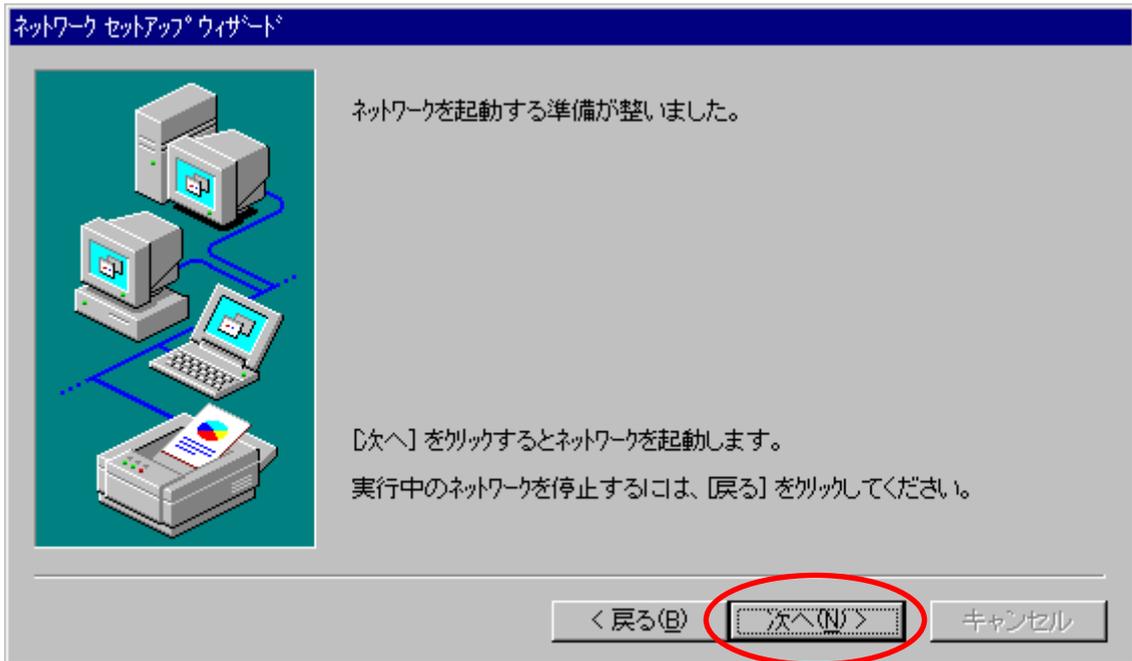
バイトの表示(S): すべてのサービス

- + NetBIOS インターフェイス
- + サーバー
- + ワークステーション

有効(E) 無効(D) 上へ(U) 下へ(O)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

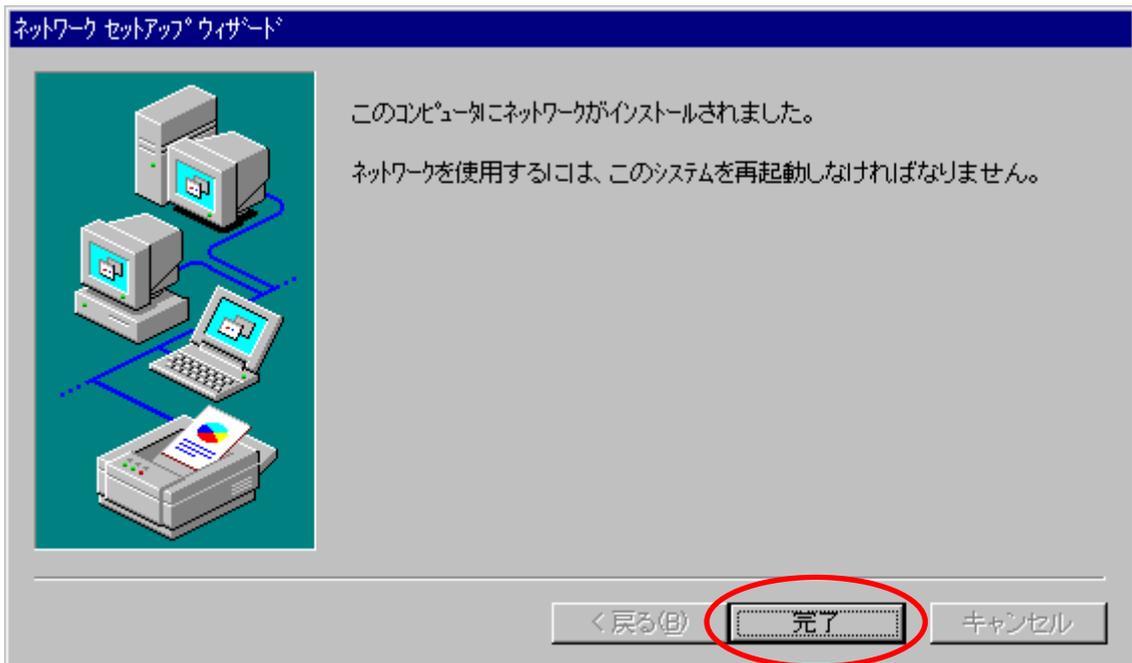
20. 下記の画面になりましたら、[次へ]をクリックして下さい。



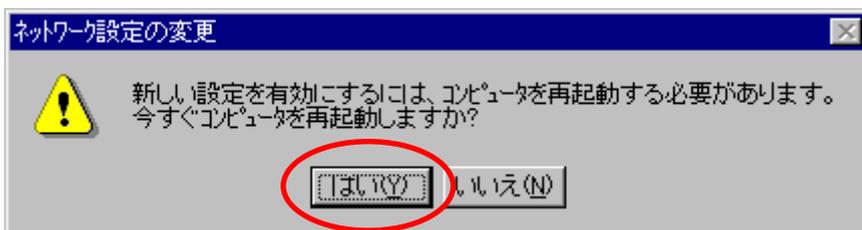
21. 適切なコンピュータ名、ワークグループ又はドメインの設定を行い [次へ]をクリックして下さい。



22. 以上で全てのインストールが完了です。[完了]をクリックして下さい。



23. 再起動を促されましたら[はい]をクリックしてコンピュータを再起動して下さい。
再起動時にはフロッピーディスクをドライブから抜いておいて下さい。

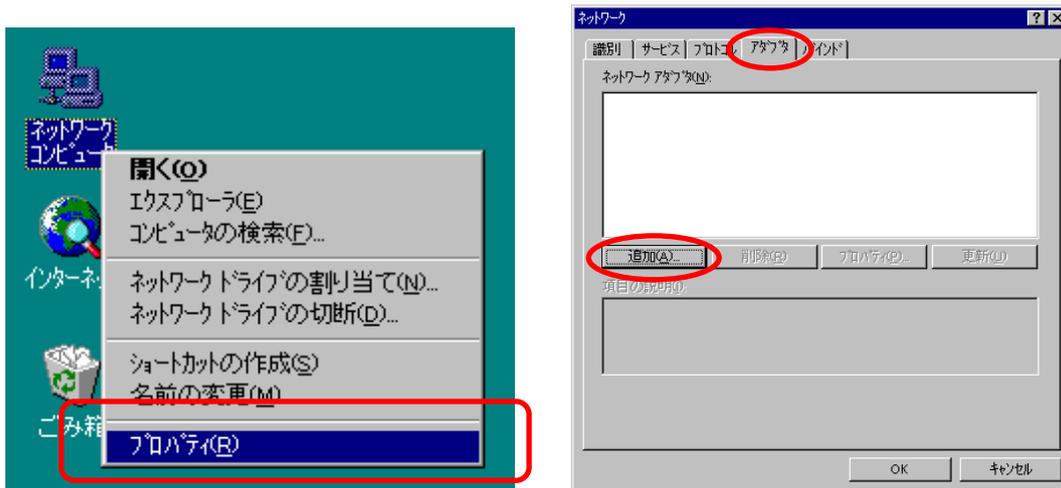


24. インターネット接続や LAN 内でファイルの共有等を行うには適切な TCP/IP 設定が必要になります。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねになるかプロバイダの提供資料に基づき設定を行ってご使用下さい。

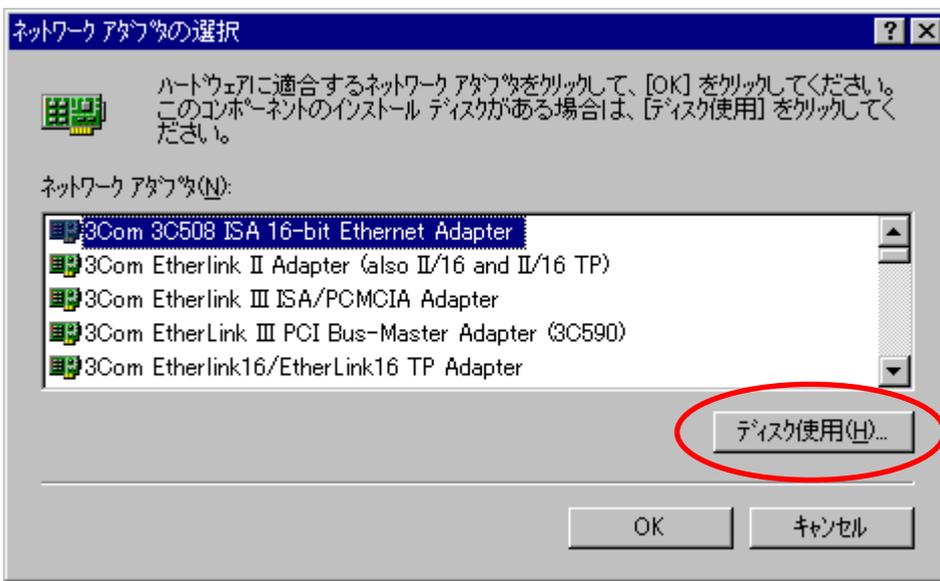
[以前に LAN カードを使用して GH-ELG32RN に交換する場合]

※必ず管理者権限 (administrator) からドライバのインストールして下さい。

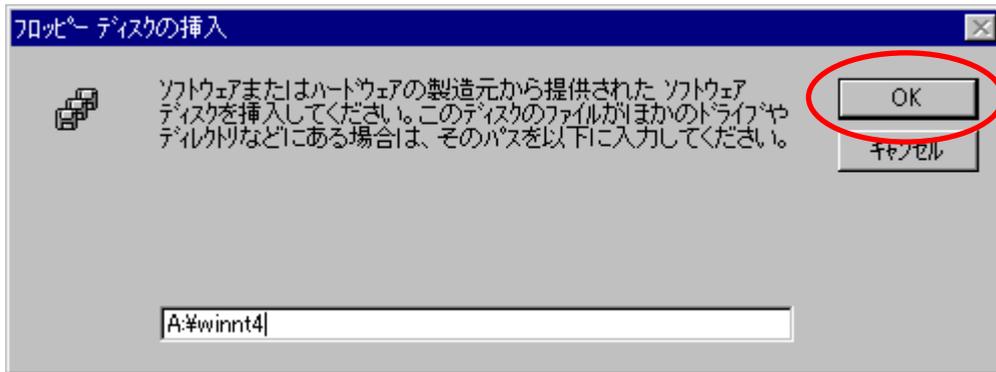
1. 本製品を PCI バスに装着した後にパソコンの電源を入れ、デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ]アイコンの[プロパティ]を開き、[アダプタ]タブを選択します。[アダプタ]-[追加]をクリックします。(NT4.0はplug & play 機能未搭載のため手動でインストール作業を行う必要があります。)



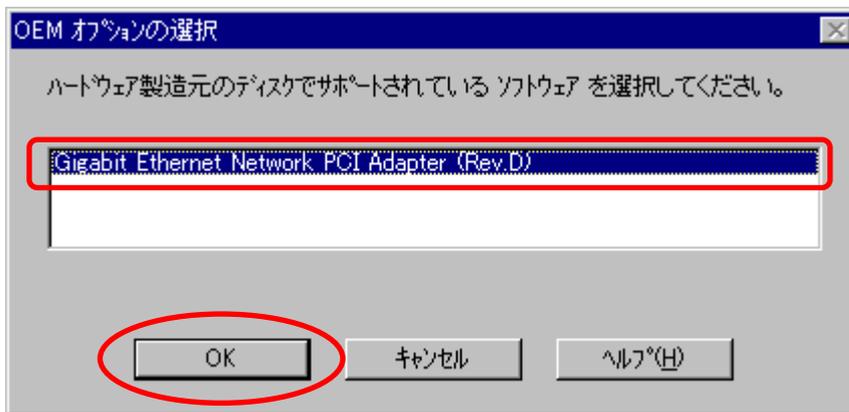
2. 下記の画面になりましたら[ディスク使用]をクリックします。



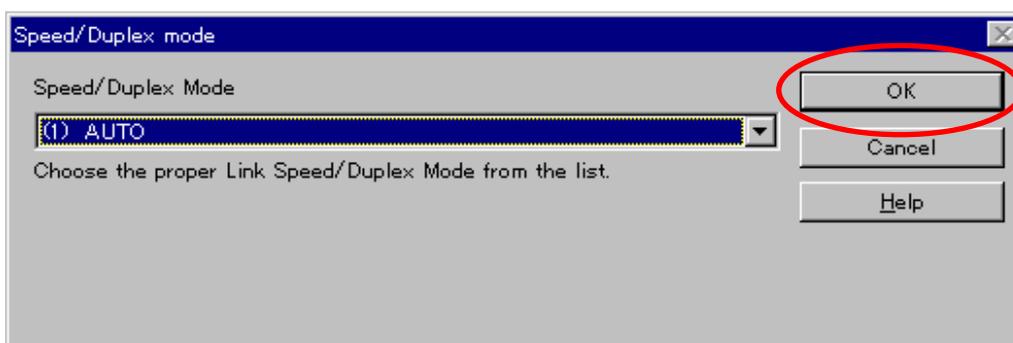
3. 下記の画面になりましたら、お使いのパソコンのフロッピーディスクドライブの場所（通常は A:\winnt4）を入力し、提供ドライバディスクを挿入して [OK] をクリックします。



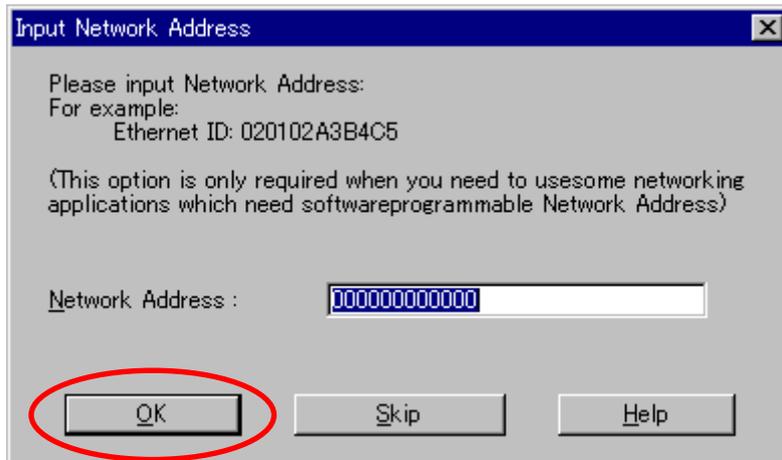
4. 下記の画面になりましたら、[Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)] の表記 が出ていることを確認して、[OK] をクリックします。



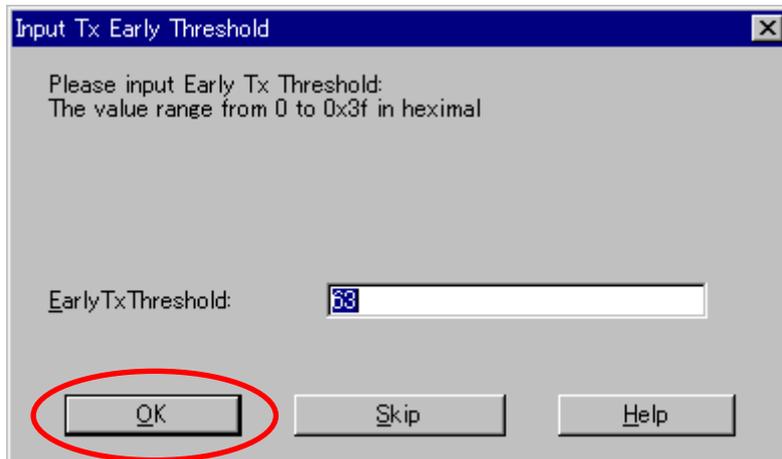
5. 下記の画面になりましたら、[OK] をクリックして下さい。



6. 下記の画面が表示されたら [OK] をクリックして下さい。



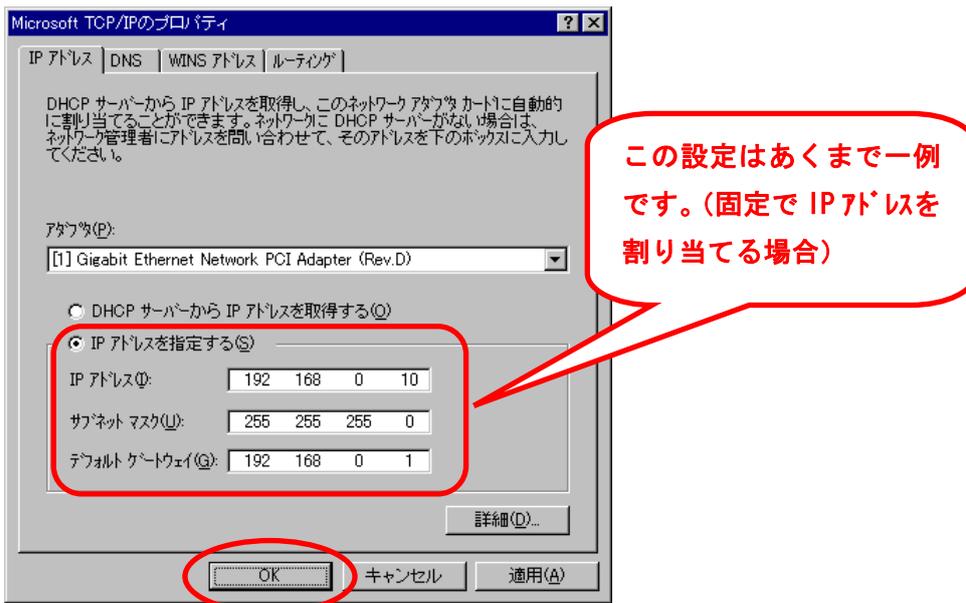
7. 続いて、下記の画面が表示されますので [OK] をクリックして下さい。



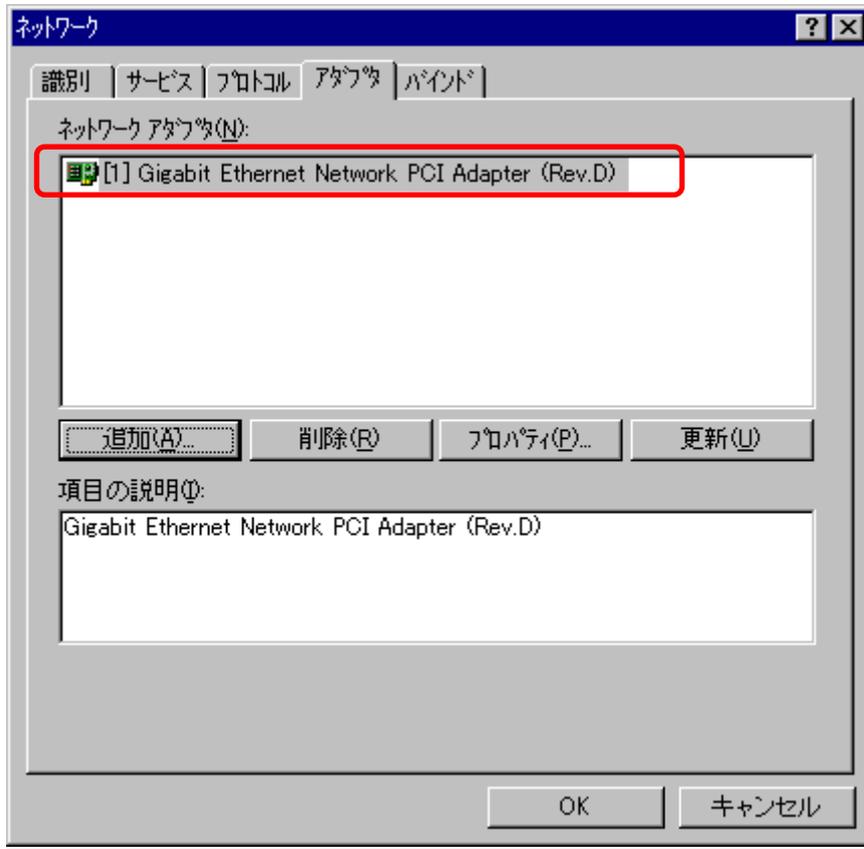
8. 下記の画面が表示されますので、[閉じる]をクリックして下さい。



9. インターネット接続や LAN 内でファイルの共有等を行うには適切な TCP/IP 設定が必要になります。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねになるかプロバイダの提供資料に基づき設定を行って、[OK]をクリックして下さい。再起動をして終了です。

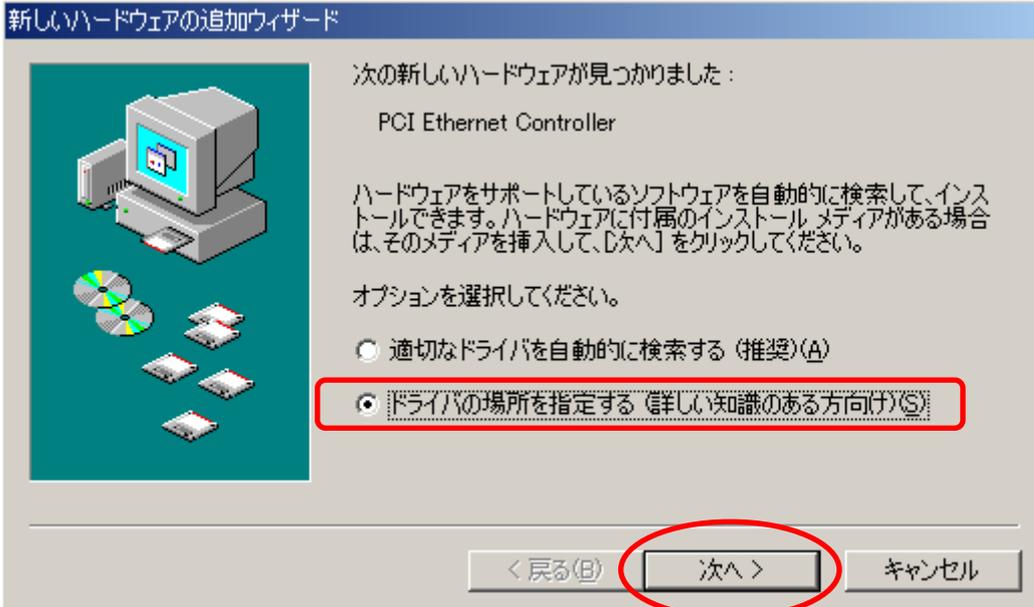


10. 再起動後、ネットワークのタブを開き、アダプタタブを選択し、下記のように[Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)]と表示されていることを確認してご使用下さい。

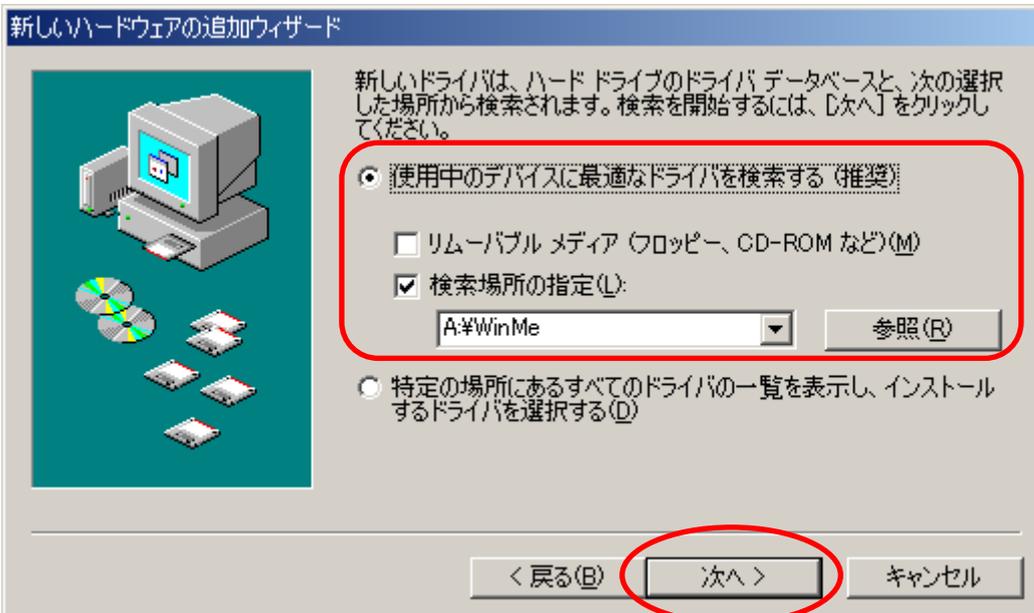


ドライバインストール (Windows Me)

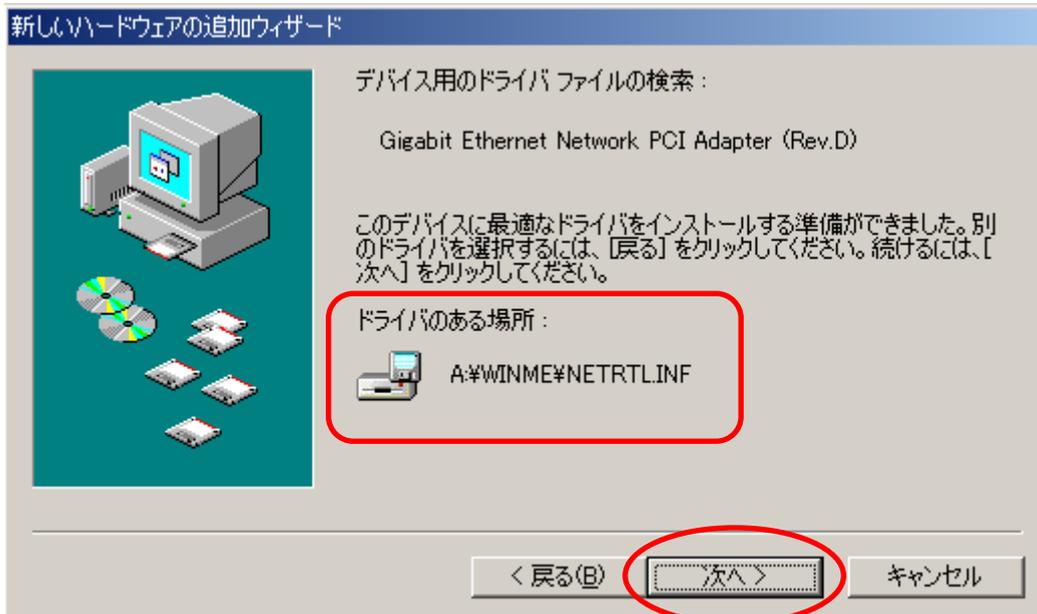
1. 本製品を PCI バスに装着した後にパソコンの電源を入ると下記の画面が出ますので、
[ドライバの場所を指定する (詳しい知識のある方向け)] を選択して、[次へ] をクリックしてください。



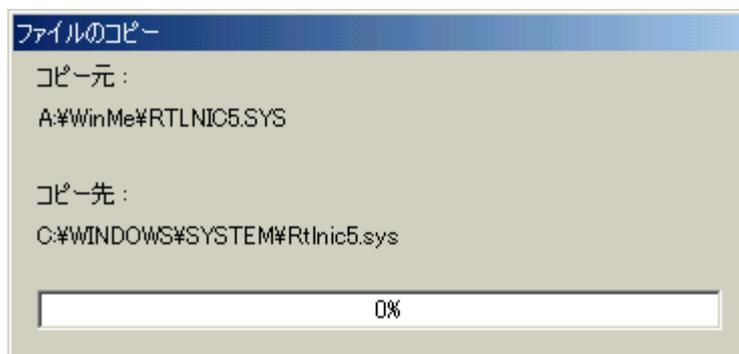
2. [検索場所の指定] にチェックをして欄内に [A:¥WinMe] と入力して、提供ドライバフロッピーディスクをドライブにセットして [次へ] をクリックします。



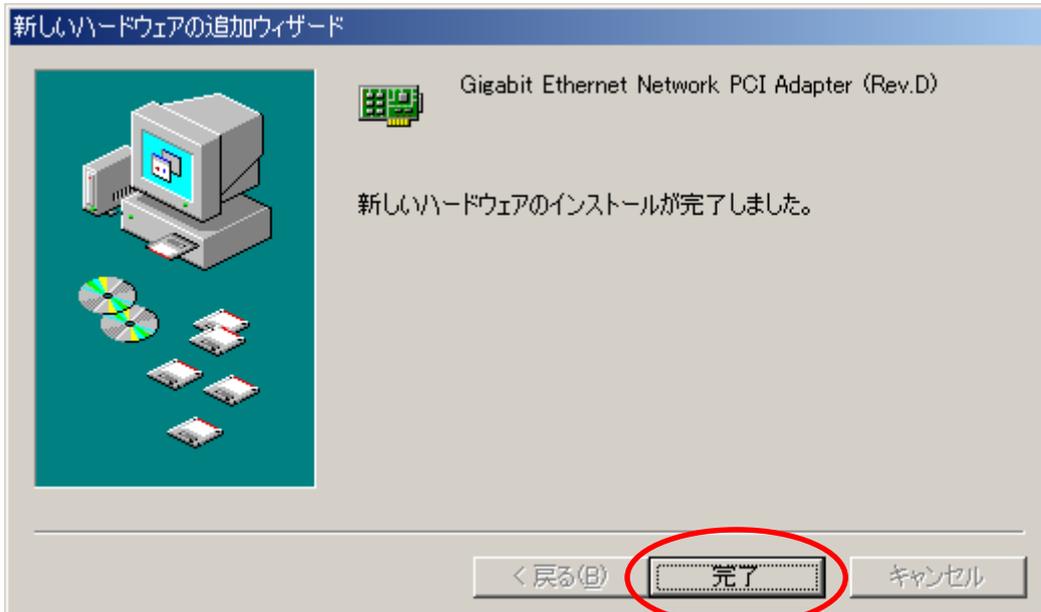
3. ドライバのある場所が下記の画面になっていることを確認して [次へ] をクリックしてください。



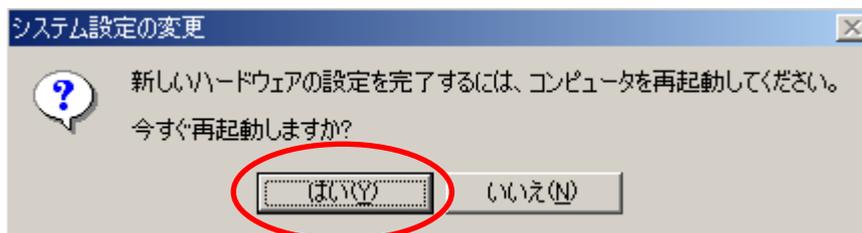
4. 提供フロッピーディスクから必要なファイルのコピーが始まります。途中で OS の CD-ROM を要求される場合がありますがその場合指示に従って OS の CD-ROM を挿入して下さい。(必要なネットワークコンポーネントがインストールされます。)



5. 必要なファイルがコピーされ下記の画面になりましたらドライバのインストールは完了です。[完了]をクリックして下さい。



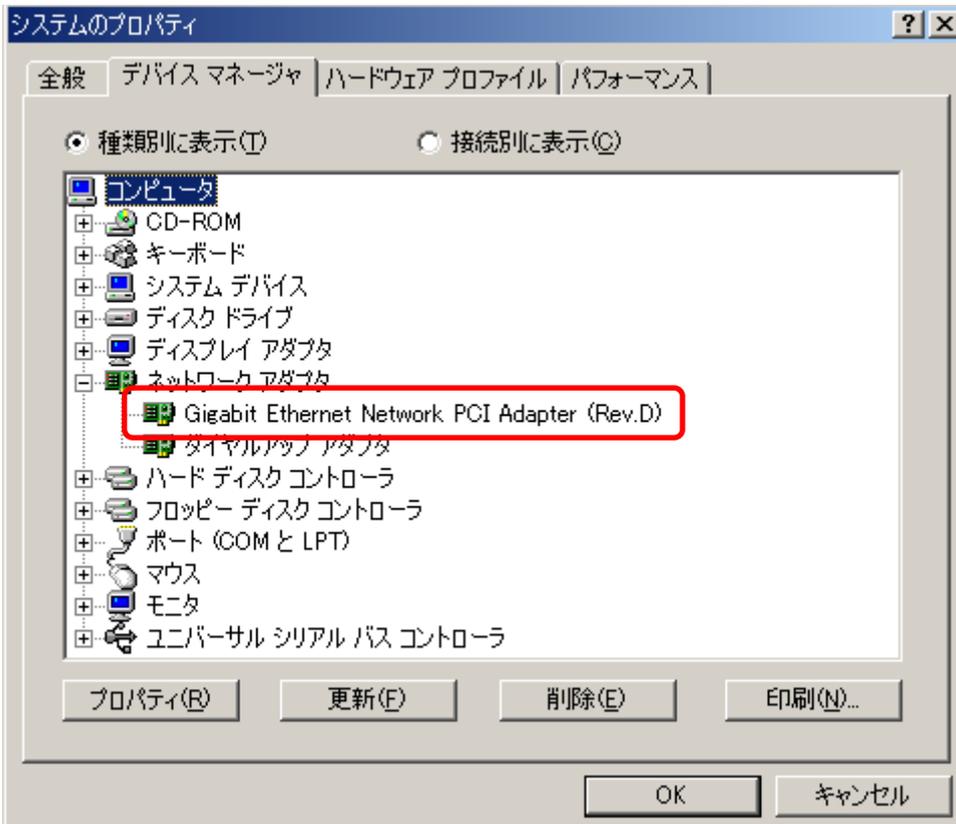
6. コンピュータの再起動を促されますので再起動させてドライバインストール作業は完了です。再起動時にはドライブからフロッピーディスクを抜いておいて下さい。



7. 確認の為にデバイスマネージャを開いて下記の[Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev. D)]の表記が出ていることを確認して下さい。

([マイコンピュータ]-右クリック-[プロパティ]で表示させます。)

万が一？マークや！マークが付いている場合ドライバインストールに失敗していますので後述するデバイスドライバの再インストールを行って下さい。



8. 更に[プロパティ]をクリックして、デバイスの状態を確認します。

[このデバイスは正常に動作しています]と表示されていれば GH-ELG32RN は使用できる状態になっています。

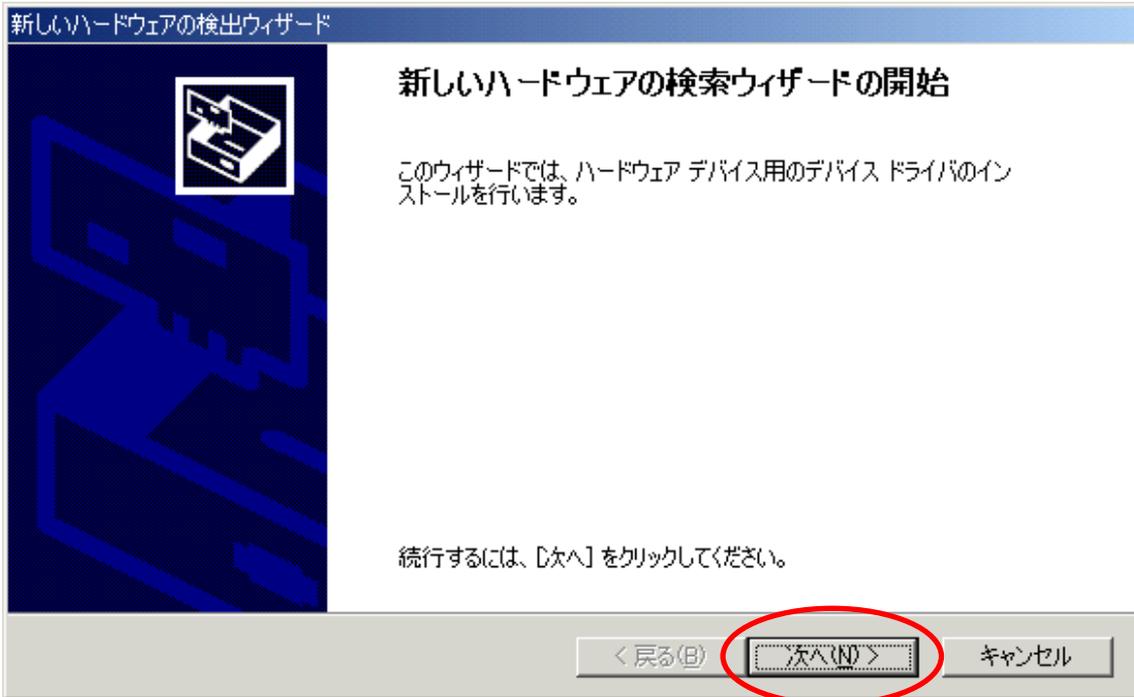


9. インターネット接続や LAN 内でファイルの共有等を行うには適切な TCP/IP 設定が必要になります。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねになるかプロバイダの提供資料に基づき設定を行ってご使用下さい。

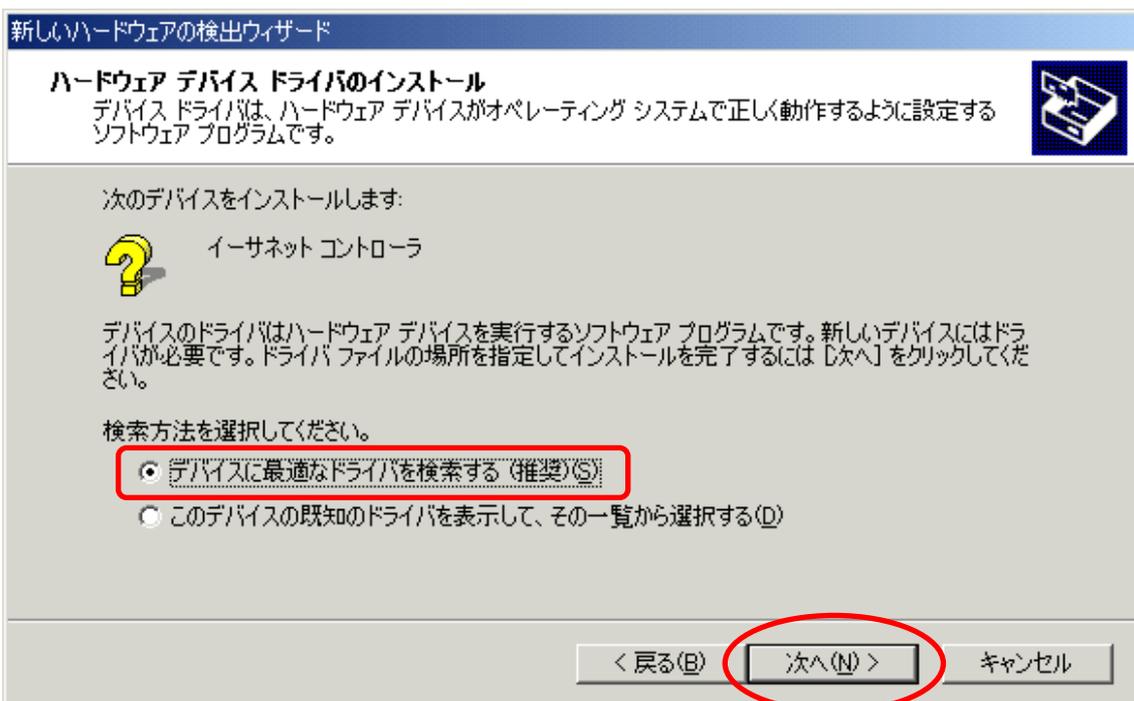
ドライバインストール (Windows 2000)

※必ず**管理者権限 (administrator)** からドライバのインストールして下さい。

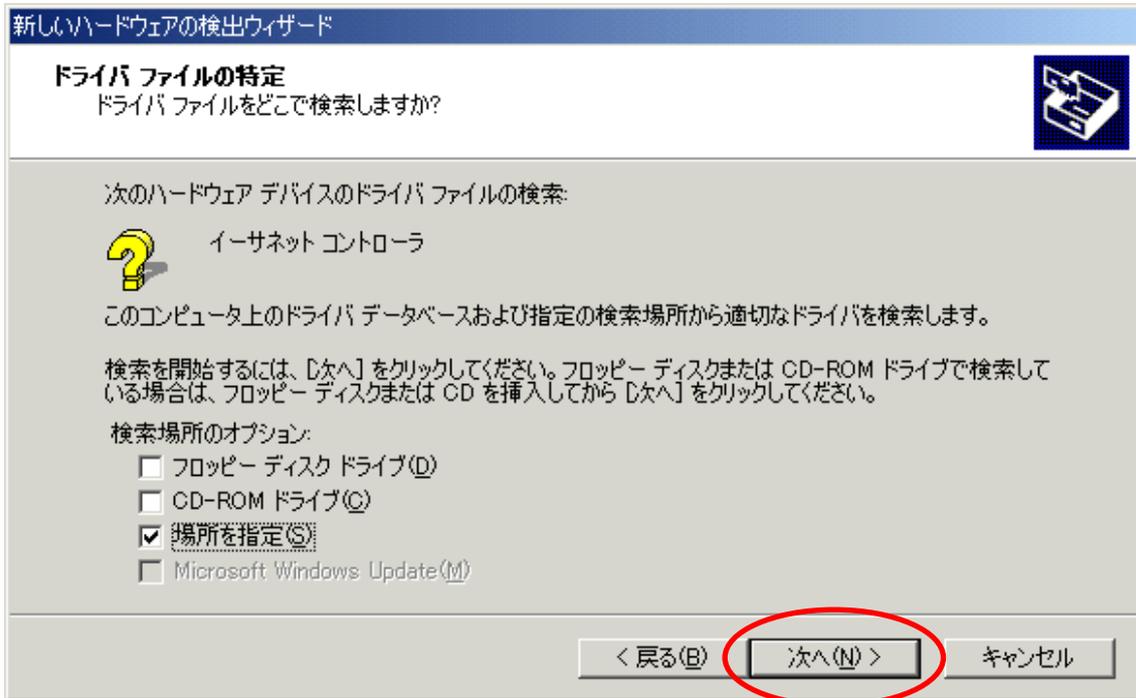
1. 本製品を PCI バスに装着した後にパソコンの電源を入ると下記の画面が出ますので [次へ] をクリックします。



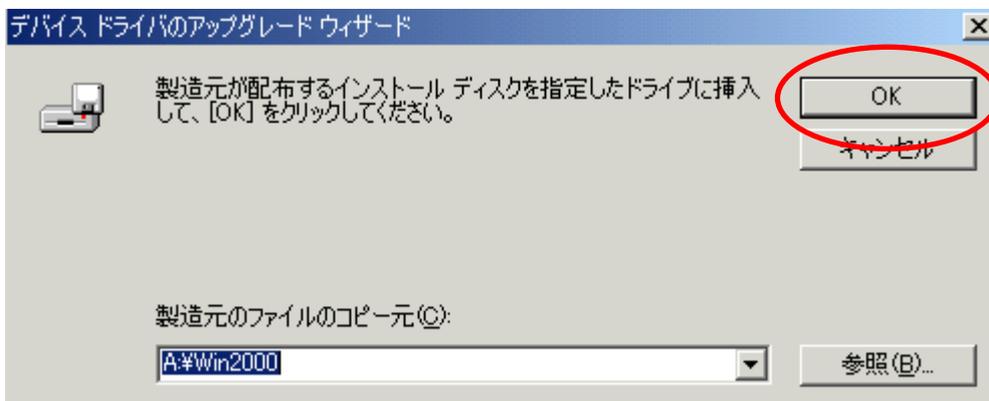
2. [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] にチェックして [次へ] をクリックします。



3. [場所を指定]にチェックをして[次へ]をクリックします。このときドライバフロッピーディスクをドライブに挿入しておきます。



4. [製造元のファイルのコピー元]の欄にフロッピーディスクドライブのドライブ名（通常は A:¥Win2000）と入力して[OK]をクリックします。



5. インストールファイルの表記（通常は a:\\$win2000\\$netrtl.inf）を確認して[次へ]をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード

ドライバ ファイルの検索

ハードウェア デバイスのドライバ ファイル検索が終了しました。



次のデバイスのドライバが検索されました:



Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)

このデバイスのドライバが見つかりました。このドライバをインストールするには、[次へ]をクリックしてください。



a:\\$win2000\\$netrtl.inf

このデバイスに適する別のドライバが見つかりました。このドライバの一覧を表示、またはその中にあるドライバをインストールする場合は次のチェック ボックスをオンにして [次へ] をクリックしてください。

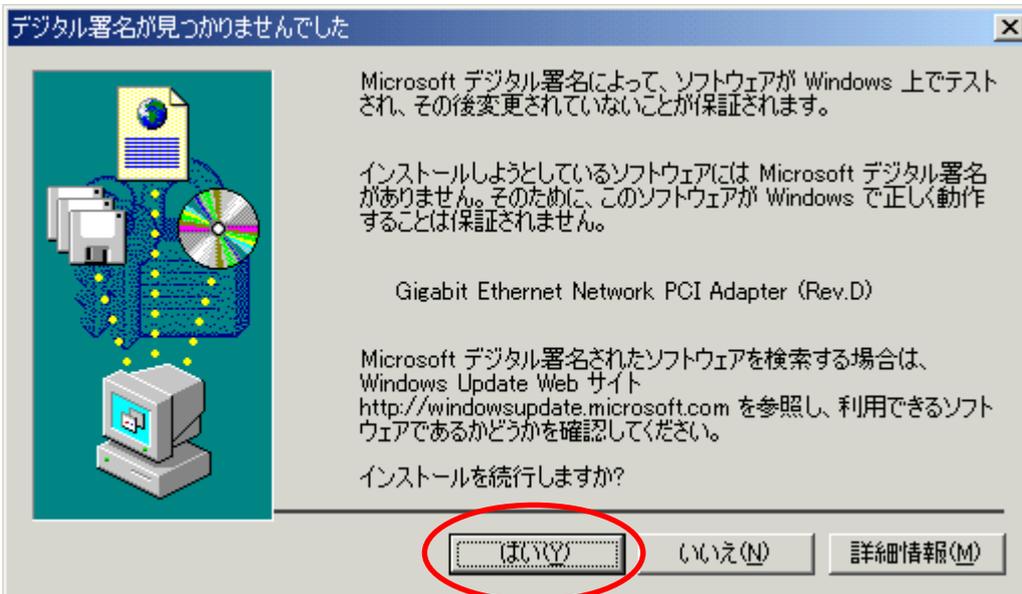
別のドライバを 1 つインストールする

< 戻る(B)

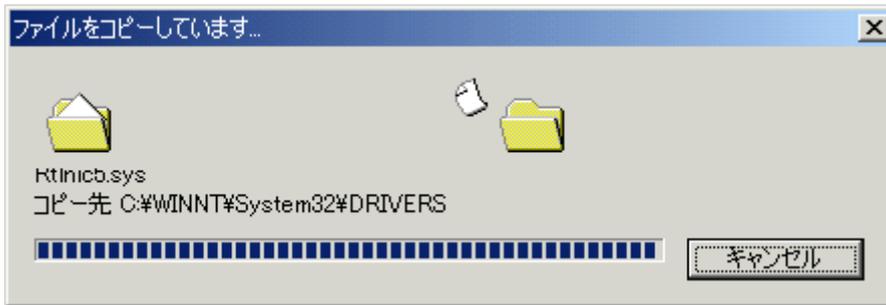
次へ(N) >

キャンセル

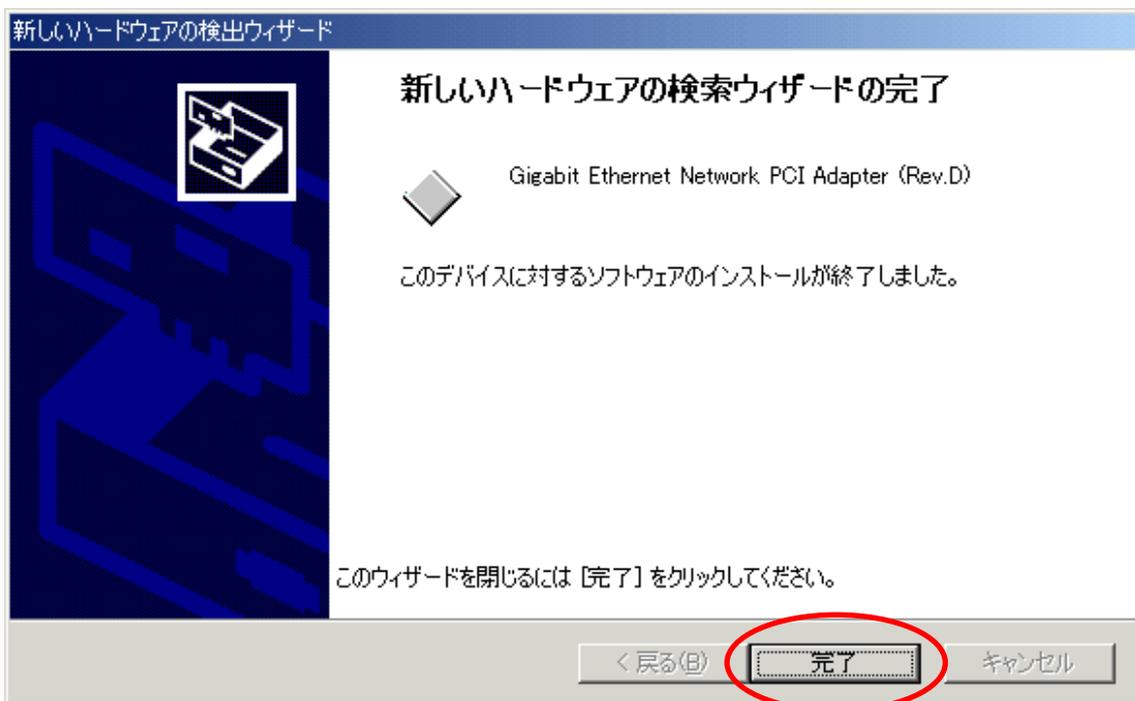
6. 下記のような画面が出ましたら、[はい]をクリックします。



7. デバイスドライバのインストール中の画面です。



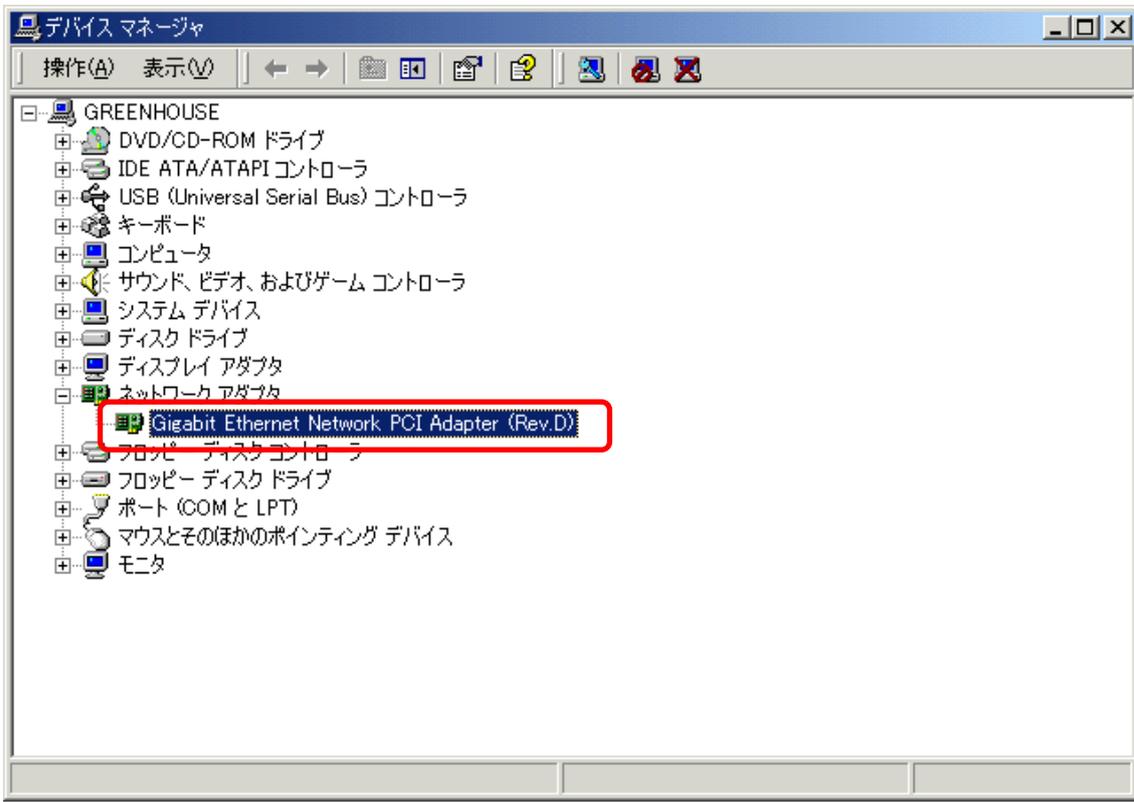
8. 下記の画面が出ましたら、ドライバインストールは完了です。



9. 確認の為にデバイスマネージャを開いて下記の[Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev. D)]の表記が出ていることを確認して下さい。

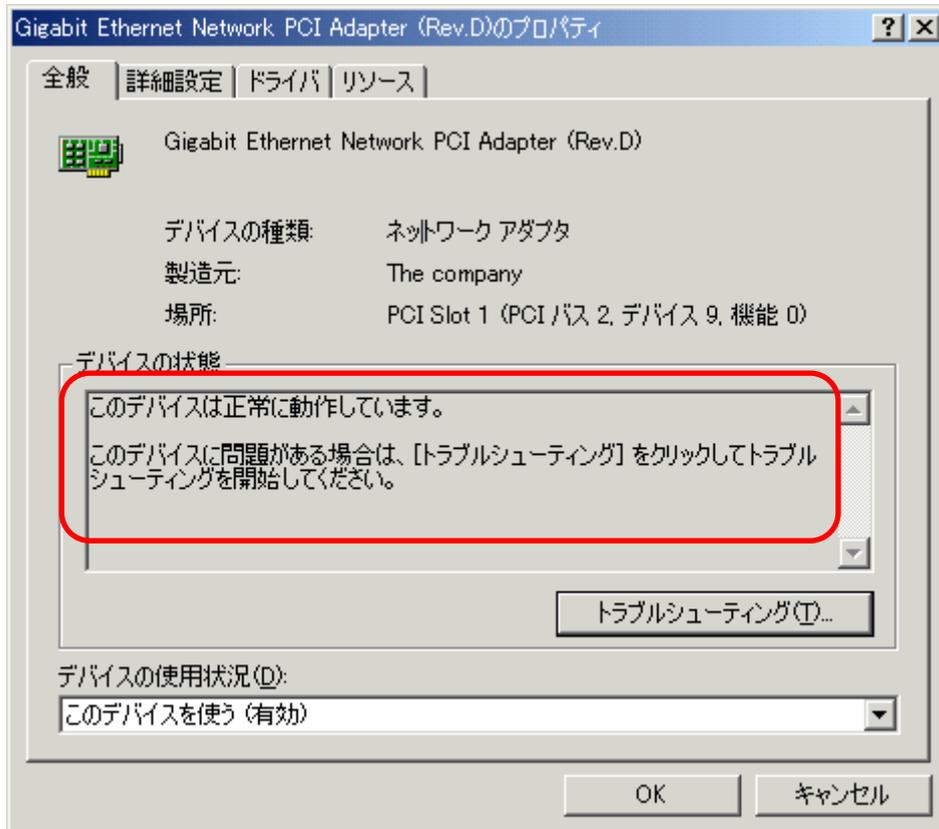
(デスクトップアイコンの[マイコンピュータ]-右クリック-[プロパティ]で表示させます。)

万が一？マークや！マークが付いている場合ドライバインストールに失敗していますので後述するデバイスドライバの再インストールを行って下さい。



10. 更に[プロパティ]をクリックしてデバイスの状態を確認します。

[このデバイスは正常に動作しています。]と表示されていれば GH-ELG32RN は使用できる状態になっています。

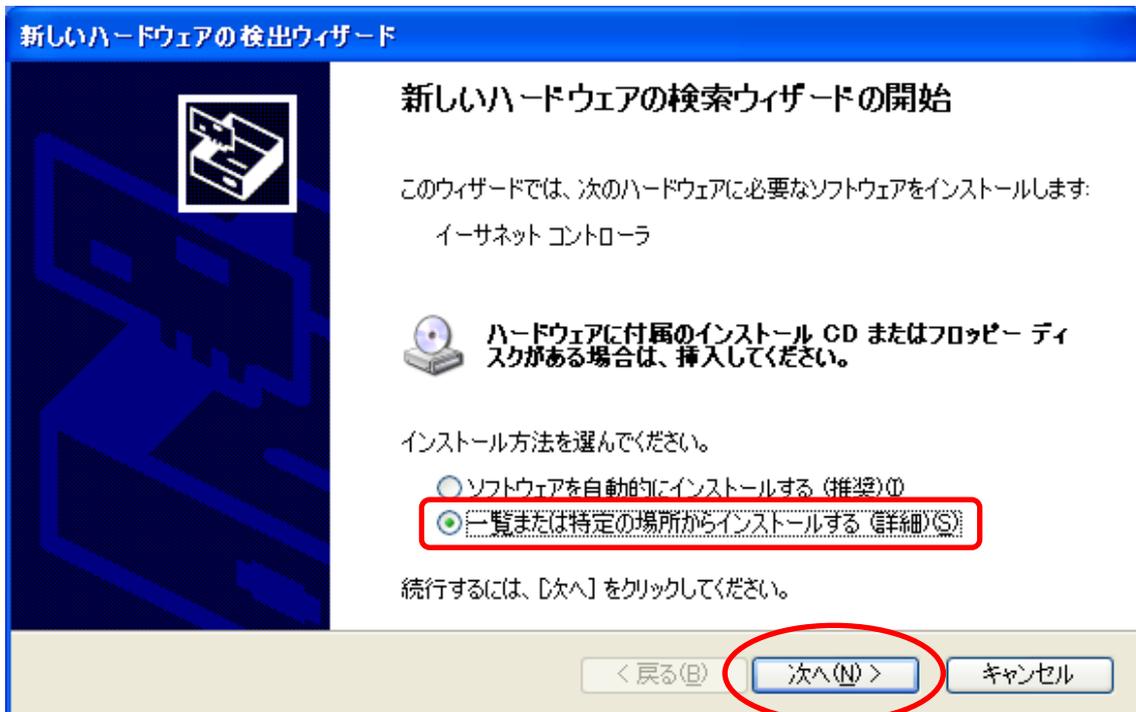


11. インターネット接続や LAN 内でファイルの共有等を行うには適切な TCP/IP 設定が必要になります。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねになるかプロバイダの提供資料に基づき設定を行ってご使用下さい。

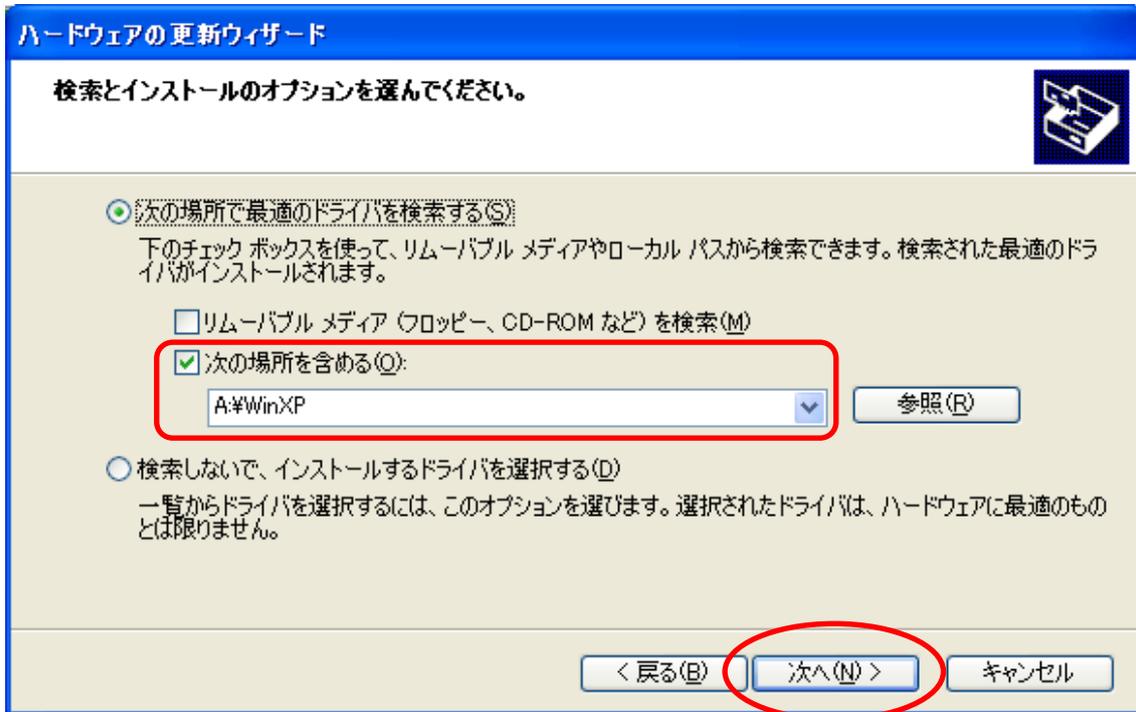
ドライバインストール (Windows XP)

※必ず**管理者権限 (administrator)** からドライバのインストールして下さい。

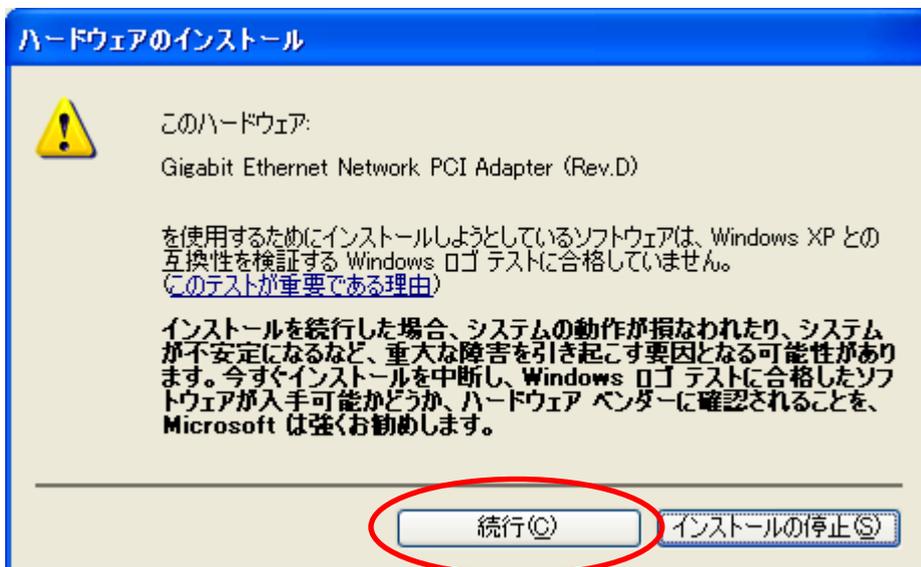
1. 本製品を PCI バスに装着した後にパソコンの電源を入れると下の画面が出ますので
[一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をチェックして [次へ] をクリックします。



2. 下記の画面になりましたら、[次の場所を含める]にチェックして、提供ドライバフロッピーディスクをドライブに挿入します。フロッピーディスクドライブのドライブ名（通常は A:¥WinXP）と入力して[次へ]をクリックします。



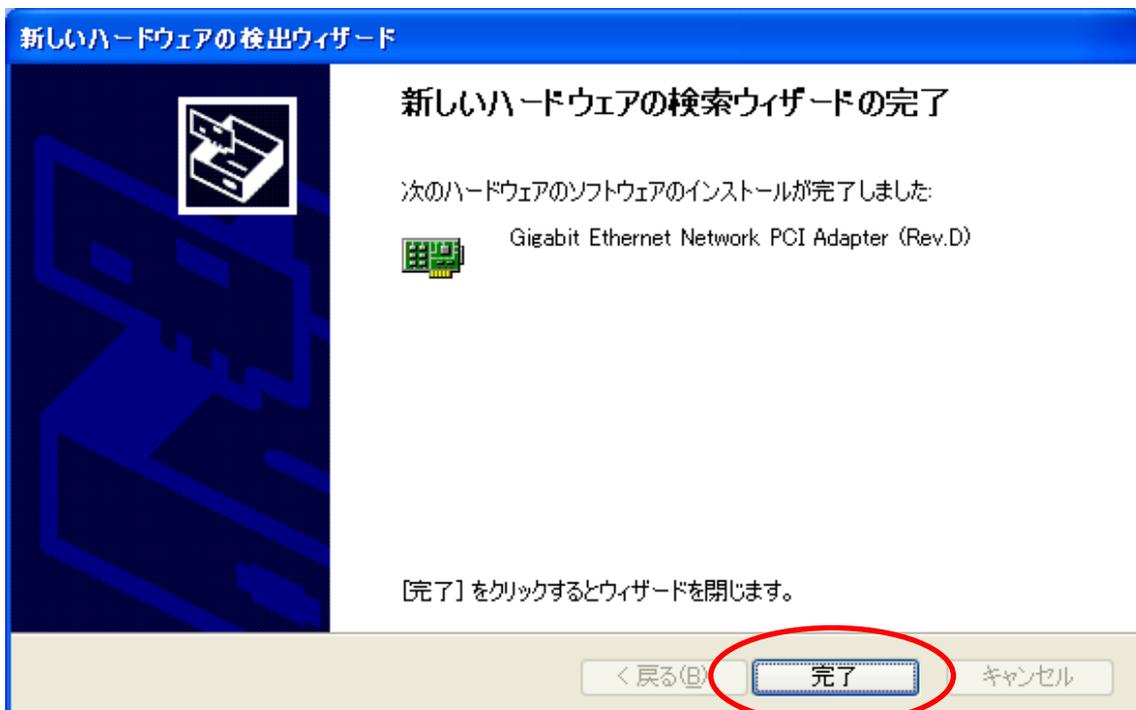
3. 下記の画面が出ましたら、[次へ] をクリックして下さい。



4. 下記のとおり、インストールが実行されます。



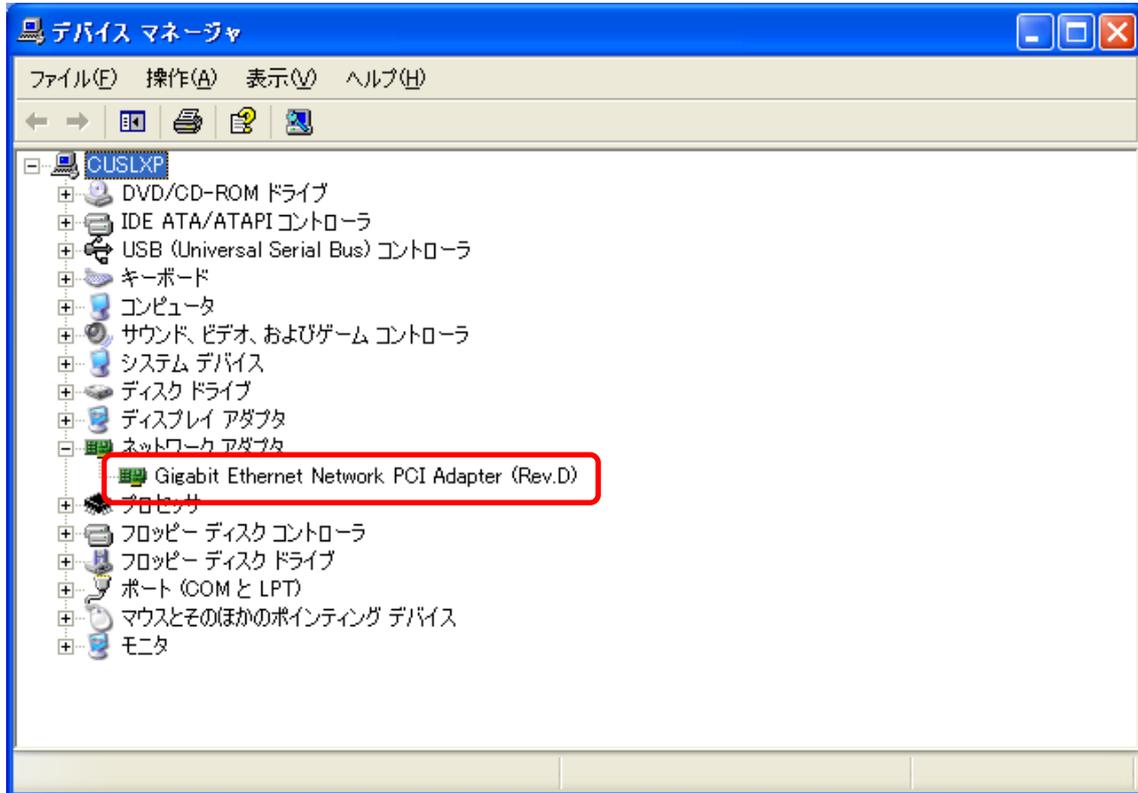
5. 必要なドライバファイルのコピーが終了するとインストール作業は完了です。
[完了]をクリックして下さい。



6. 確認の為にデバイスマネージャを開いて下記の[Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev. D)]の表記が出ていることを確認して下さい。

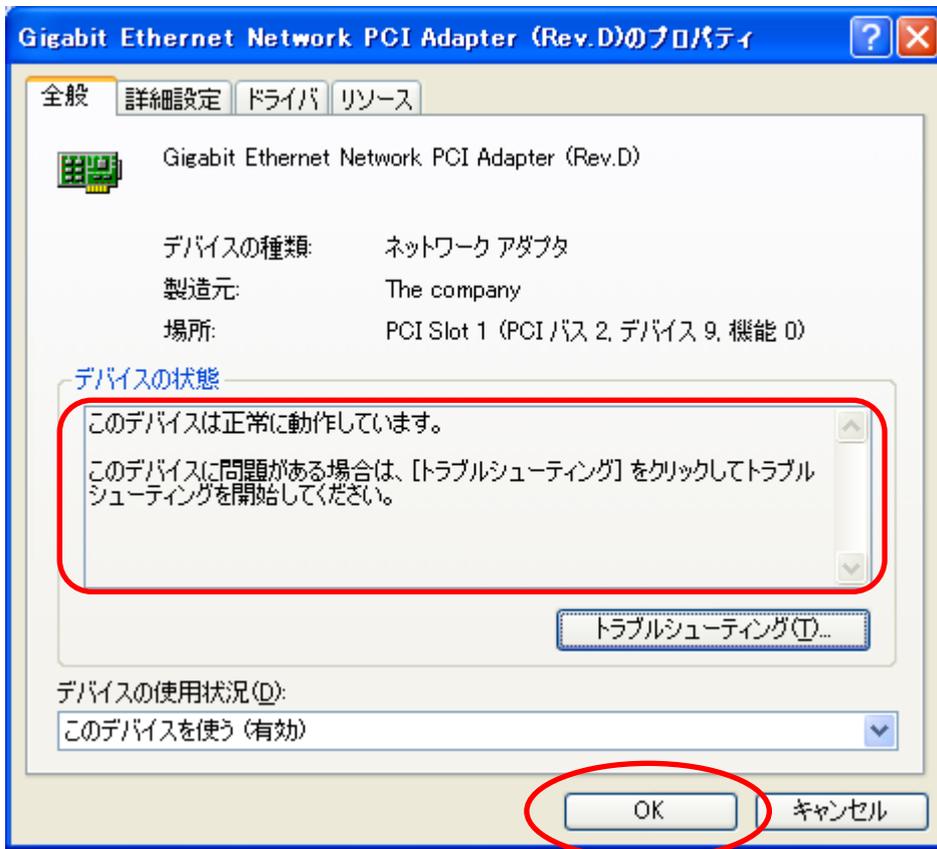
([マイコンピュータ]-右クリック-[プロパティ]-[ハードウェア])で表示させます。)

万が一？マークや！マークが付いている場合ドライバインストールに失敗していますので後述するデバイスドライバの再インストールを行って下さい。



7. 更に[プロパティ]をクリックしてデバイスの状態を確認します。

[このデバイスは正常に動作しています。]と表示されていれば GH-ELG32RN は使用できる状態になっています。



8. インターネット接続や LAN 内でファイルの共有等を行うには適切な TCP/IP 設定が必要になります。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねになるかプロバイダの提供資料に基づき設定を行ってご使用下さい。

ドライバインストールに失敗した場合の再インストール手順

・ Windows98SE, WindowsMe, Windows2000, WindowsXP 共通

デバイスマネージャに！や？マークが付いていて正常に動作しない場合下記の手順でドライバの削除を行ってから再インストールを行って下さい。

※お使いのパソコン機種、OS 種類によって多少表記が異なる場合があります。

1. お使いのパソコンを「セーフモード」で起動させて下さい。
(セーフモードの起動方法についてはお使いのパソコンのマニュアルを参照下さい)
2. デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して「デバイスマネージャ」を開いて下さい。
3. [デバイスマネージャ]内の [ネットワークアダプタ] もしくは [その他のデバイス] 中の「イーサネット コントローラ」を選択して [削除] ボタンをクリックします。
4. 再起動を促すメッセージが表示されますが [いいえ] を選択して **必ず再起動はせずに** [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。
5. [コントロールパネル]内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックして開きます。
6. ウィンドウ内に「Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)」や!、?マーク付きのものが表示されている場合、これを選択して [削除] ボタンをクリックします。
7. 再度、再起動を促すメッセージが表示されますが **必ず再起動はせずに** 手順 8 に続いて下さい。
8. エクスプローラの [ツール]-[フォルダオプション]-[表示]内の「すべてのファイルとフォルダを表示する」にチェックが入っていることを確認します。
「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックを外します。
これらがなされていないと下記 9 のファイル表示が出来ません。

9. 下表に従って、該当する OS に対応するドライバファイルをすべて削除します。

Windows 98SE	C:\windows\system\RtlNic4.sys C:\windows\inf\other\The companyNETRTL.INF
Windows NT4.0	C:\winnt\system32\oemnad0.inf C:\winnt\system32\drivers\RtlNic4.sys
Windows Me	C:\windows\system\RTLNIC5.SYS C:\windows\inf\other\The companyNETRTL.INF
Windows 2000	C:\winnt\system32\drivers\RtlNic5.sys
Windows XP	C:\windows\system32\drivers\RtlNic51.sys

10. 上記のドライバ削除手順が完了して、パソコンを再起動させますと再度 GH-ELG32RN を認識して、ハードウェアウィザードが立ち上がりインストール作業に入りますので前述の手順に従って、再度インストール作業を行って下さい。

アダプタアドレス (MAC アドレス) の確認方法

TCP/IP プロトコルがインストールされている場合以下の手順で確認ができます。

1. [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択します。
2. [winipcfg.exe]と入力し、[OK]をクリックします。

WindowsNT4.0、Windows2000 および WindowsXP の場合はコマンドプロンプトを起動し [ipconfig /all]と入力します。

注：アダプタアドレスは、個々の製品にそれぞれ独自の番号が割り当てられています。従いまして、お客様の製品によりアダプタアドレスは異なります。

Windows98SE、WindowsMe での表示例



※画面は WindowsMe での表示の一例です。実際に表示されるアダプタアドレスはお客様の製品により異なります。

WindowsNT4.0、Windows2000、WindowsXP での表示例

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings\cusl2xp>ipconfig -all

Windows IP Configuration

    Host Name . . . . . : CUSLXP
    Primary Dns Suffix . . . . . :
    Node Type . . . . . : Hybrid
    IP Routing Enabled. . . . . : No
    WINS Proxy Enabled. . . . . : No

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . . :
    Description . . . . . : Gigabit Ethernet Network PCI Adapter (Rev.D)
    Physical Address. . . . . : 00-08-54-18-6A-20
    Dhcp Enabled. . . . . : No
    IP Address. . . . . :
    Subnet Mask . . . . . :
    Default Gateway . . . . . :
    DNS Servers . . . . . :

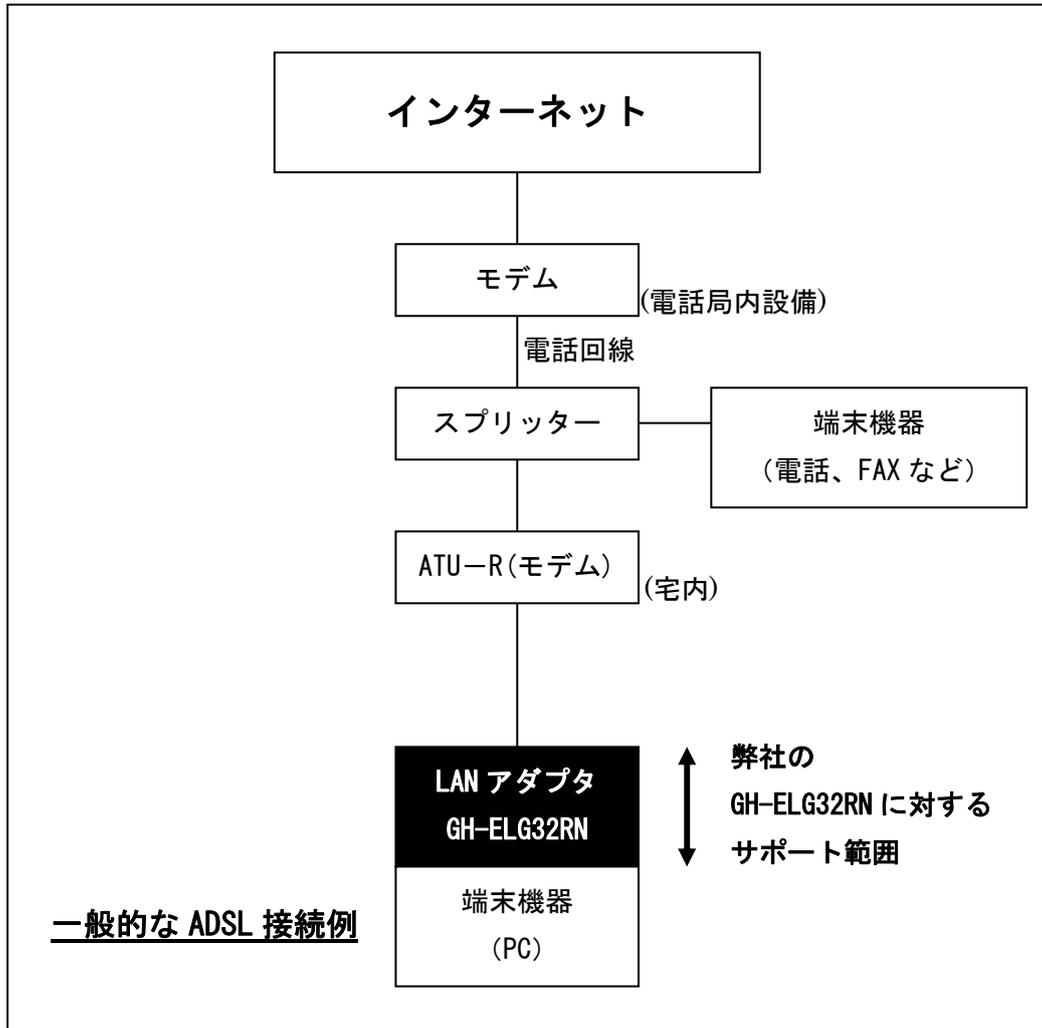
    Primary WINS Server . . . . . :
    Secondary WINS Server . . . . . :
```

※画面は WindowsXP での表示の一例です。実際に表示されるアダプタアドレスはお客様の製品により異なります。

本製品の弊社サポートの範囲（ご注意）

本製品における弊社のサポートの範囲は本製品をパソコンに取り付けて OS 上にデバイスとして認識させるまでが責任の分界点となっております。

従いまして、ネットワーク環境の設定（具体的にはファイル共有設定や TCP/IP 設定や ADSL, CATV, FTTH 接続の設定等）につきましては御使用になるネットワークの管理者、プロバイダ、OS 等の問い合わせ窓口の方にお尋ね頂くようお願い申し上げます。



不具合調査依頼書

技術的な御質問はこのページをコピーして必要事項をもれなく記入の上、当社へFAXでお送り下さい。

(株)グリーンハウス テクニカルサポート行

FAX 03-5421-2266

御社名 _____
部署名 _____
ご担当者 _____ ふりがな _____
e-Mail _____
ご連絡先住所 〒 _____

電話番号 _____
FAX 番号 _____
購入先 _____
購入年月日 _____

- ・ ご使用の製品型番 GH-ELG32RN
- ・ ご使用のドライバディスクの表示 _____ Ver. _____
- ・ ご使用のパソコンのメーカー _____
- ・ ご使用のパソコンの型番 _____

(特に IBM 製や富士通製、NEC 製は正確に)

- ・ ご使用の OS Windows98 Second Edition フリインストール版
 Windows NT4.0 SP____ 製品版
 Windows Me アップグレード版
 Windows 2000 SP____
 Windows XP (Home Professional)
- ・ ご使用のプロトコル NetBEUI
 TCP/IP
 IPX/SPX

その他に増設した機器のメーカーと型番 _____

- ショップブランドや自作機をお使いの方は全パーツのリストを添付して下さい。
- なお PC メーカーやパーツメーカーが認めていない改造等 (クロックアップを含む) をされている場合はその旨をお書き添え下さい。

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。

迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入下さい。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付して下さい。

お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）記入して下さい。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付して下さい。
 - ・ お問い合わせ内容 別紙あり別紙なし
 - 設置中に起こっている障害
 - 設置後、運用中に起こっている障害

以下に現象を記述願います。

現在のネットワーク構成図

最新ドライバをダウンロード

ホームページ <http://www.green-house.co.jp/>にて、グリーンハウス LAN 製品のテクニカルサポート情報の検索や最新 OS に対応したドライバをダウンロードできるようになっております。

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポート
Tel, Fax	03-5421-0580 (サポートダイヤル), 03-5421-2266 (Fax)
受付時間	10:00~12:00 13:00~17:00 (土、日、祝祭日を除く弊社営業日)
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/
メールアドレス	support@green-house.co.jp



株式会社グリーンハウス

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿 1-20-22 三富ビル 4 階

TEL 03-5421-2255(代表) FAX 03-5421-2266

2004/09/30 Ver 1.0